臺灣日日新報

本日八頁

編輯兼發行人 [illegible]
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

廣告料 普通記事 一行 八十錢
特別記事 一行 一圓二十錢
題字入 一行 一圓五十錢

謹賀新年

昨年中は一方ならぬ御引立に預り厚く御禮申上候尚本年も相變らず御贔負の程奉願上候

追而年末は非常に多忙を極め是れ偏に皆様方の御同情の賜と奉深謝候混雜の折柄とて不行届の點も多々有之やと心配致し居り候萬一不行居の點御座候はば何卒御遠慮なく御申付被下度候先は御禮旁々御願申上候

臺北市老松町
どりこの總代理店
泉正宗納入元
菊正宗納入元
㊦ **藤田商店**
店主 藤田敏男

鎌野の時計と記念品

精工舍電氣時計
英工社電氣時計
中村電氣器具
マツダ電氣時計
臺灣總代理店

時計を筆頭に其セット類
目先が變つた床置物……
花瓶類、鑄製品類、貴金屬
一式御贈答好適品大豐富

臺北市榮町三丁目 電話八貳番
合資會社 **鎌野時計舖**
同 納品部 千歳町南門支店

賀正
老庚種苗園
臺中州北斗郡田尾庄打簾
羅老庚

ダンダンは風の妙藥

發賣元 東京小石川區音羽町 信生堂藥房
代理店 大阪東區道修町二丁目 大木合名會社
同 支店
▽各藥店に販賣

TIGER BALM
謹賀新年
仰光埠・新嘉坡
虎標永安堂大葯坊
臺灣一手總經理
吉祥藥房
臺北市太平町一丁目（電話一八九三番）

お正月に御婦人や御子達御老人の大喜び！

專賣特許 **東京あまざけ**

三倍にウスメ温（あたた）めて生姜（しやうが）を落して召上れ

日・英・米・佛 專賣特許
ミクニ
榮養まるさい

御進物用として御家庭向好適品！

御子達のおやつに…不意の來客に即座に出來上る

發賣元 三宅商會

春物賣出

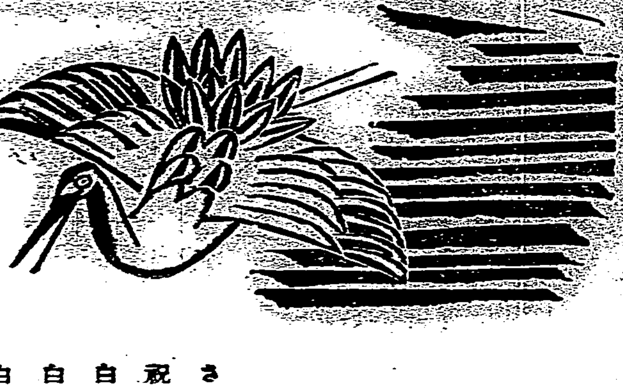
明けまして御目出度う
本年も不相變御引立を御願ひ致します

新春最新の値安を以て値段と云ひ柄と云ひ決して内地に劣らぬ最新柄流行品の初荷を豐富に取揃へ新年の御禮の意味で格別の勉強と努力を以て本日より春物の新品新柄を賣出しますから倍舊の御引立を願ひます

臺北市本町 **福田吳服店**
臺北市榮町 **近江屋吳服店**
臺北市榮町 ㊧ **菊元百貨店吳服部**
臺北市榮町京町太平町 **松井吳服店**
臺北市榮町 **藤井吳服店**
臺北市兒玉町 ㊠ **大木吳服店**

謹賀新年

臺北醫師會



さて御祝儀は
白えり
白たび
白齒の
御こと

タバコのみの
齒磨スモカ

御化粧品藥店にあり
定價十五錢

694

グリコカト
オモッタラ
フク
ジュ
サウ

大阪商船基隆出帆
門司・神戸行
蓬萊丸 一月四日後四時發
高千穂丸 一月九日後四時發
瑞穂丸 一月十四日後四時發

近海郵船基隆出帆
門司・神戸行
大和丸 一月七日後四時發
朝日丸 一月十二日後四時發
吉野丸 一月十六日後四時發

辰馬汽船出帆
內地・北支行
桐葉丸 一月上旬基隆發
宮殿丸 一月下旬基隆發

大連汽船基隆出帆
大連直行
山西丸 一月七日後五時發
山東丸 一月十四日後五時發
代理店 丸一組 [illegible]

NITTOH BLACK TEA
日東紅茶
特選

三井茶園製
日東紅茶

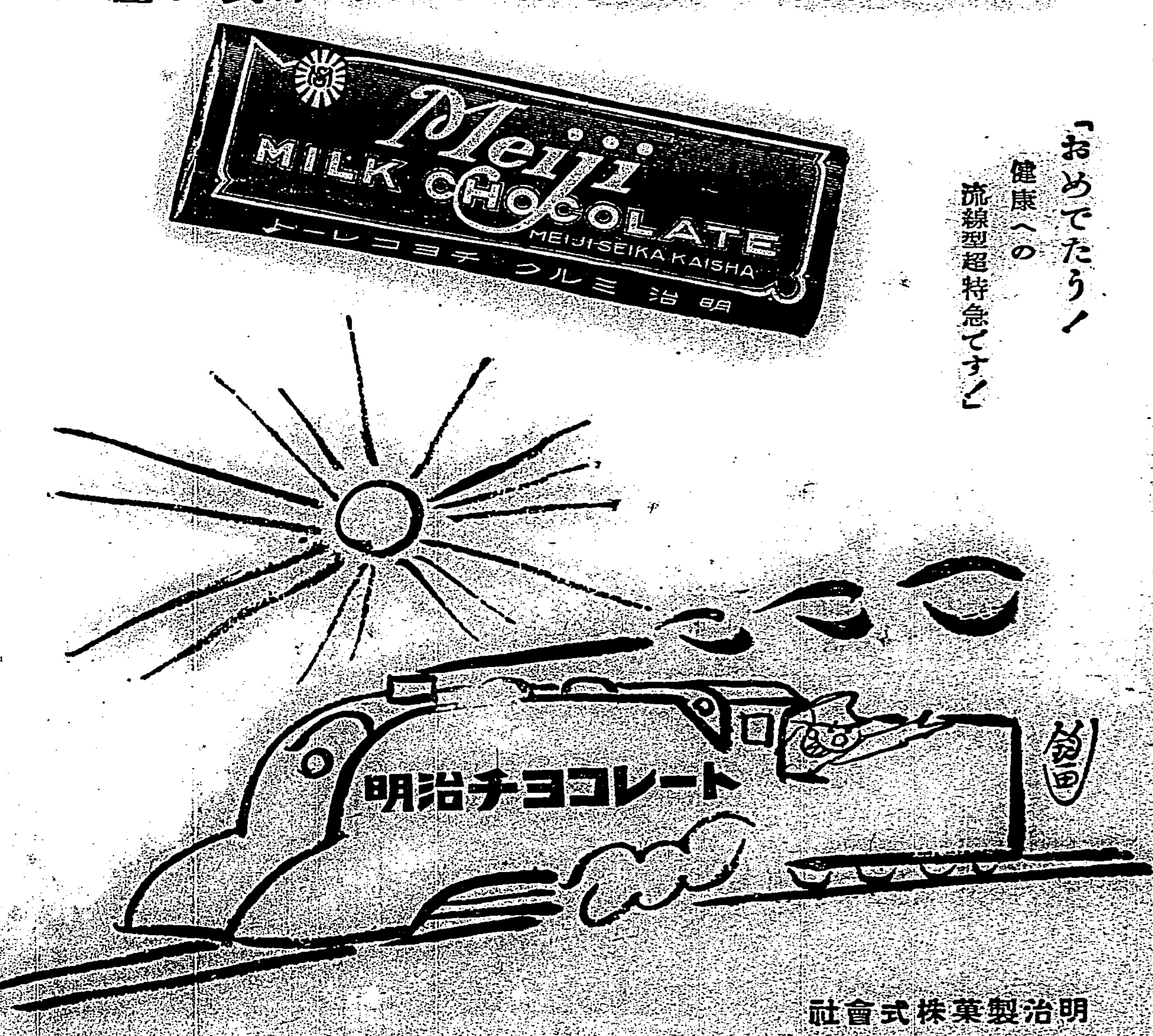
御贈答に！
御家庭に！

全國百貨店
食料品店
茶舗でお求め願ひます

發賣元 三井物產株式會社

明治チヨコレート

疲勞を回復し元氣を增す美味榮養の糧！



「おめでたう！
健康への
流線型超特急です！」

明治製菓株式會社
東京・京橋

休會したままで 豫備會談は立消か

日、英、米の主張は全く相背馳し

續會には三國共氣乘薄

【東京三日發】軍縮豫備會談は十二月十九日の休會決定の日、英、米三國共同コンミユニケにおいて再開の日取決定に關しては今後適當なる機會に於て會談の招聘國たる英國政府が適當なる措置をとることとなつてゐたが目下の情勢においては豫備會談の再開は困難と見られてゐる即ち豫備會談の休會後は外交機關を通じ折衝を續け豫備會談の再開たらしむるが如き方式の攻究に努め妥協點を發見したる後英國政府より日、米に再開を提議する豫定となつてゐるがアメリカ政府は

今回の會談で日英米三國代表が充分に自國の見解を披瀝し合つたから豫備會談は再開の必要はない次に開かるべきものは本會議だとの主張を明らかにし豫備會談の再開に反對の意向を示して居り英國政府としては會談の招聘國として會談の成功を最も期待してゐるが飽くまでサイモン試案に基く各國豫算計畫の自主的一方的宣言方式を基礎として討議を進めんことを主張し今後は右に基く具體的數字の提示を必要となしてゐる、然しながら日本は軍縮同等權容認を先決要件とし右主張が容れられざれば絶對に具體的數字の討議を行はずとの立場を堅持してゐるのこれに加ふるにアメリカ政府はワシントン條約の廢止通告に關しワシントン會議において調印せられたる諸條約は全部相對關係にあるから軍縮條約が無效となれば當然他の諸條約即ち支那に關する九國條約及太平洋に關する四國條約にも當然再檢討を加へなければならぬとの見解を示し今後豫備會談を續開するとすれば當然九國條約其他の政治問題の討議をも含めた一層重大なる會商となすべき意向であるがこれは日本政府の絶對に容認し得ざる所である 以上の情勢より見て日英米三國の主張は全く背馳し妥協點發見の希望は益々薄らぎつゝあるが何れにしても一月下旬乃至二月上旬には豫備會談の續開か否か、本年内に本會議を開くや否や等の情勢が決定すべく本年初頭の外交は益々困難複雜化するものとして最も重要視されてゐる

英米提携して 太平洋に臨む

近東問題で紳士協定せんと 米國代表が目論む

【ロンドン二日發電通】アメリカ軍縮豫備交渉代表デヴイス氏は近く歸國と同時にルーズベルト大統領に豫備會談の經過を説明し合せて今後の對策に付き重要協議を爲す筈であるが豫備會談の消息に通ずるエヂンバラの某スコツトランド人はデヴイス氏は近東問題でこれ以上日本と論爭することは時間の浪費に過ぎずと爲し英米兩國間に太平洋問題を含む紳士協定を速かに締結するやう大統領に進言する意向を持つてゐると云つてゐる 右が何處まで眞實なりやは俄斷し得ないが豫備會談にかけるアメリカ側の態度より見れば相當注目すべきことゝされてゐる

を動かし同意内に之れが變更を要求すべきであつた、又何れの國が廢棄を通告せずとしても條

太平洋の危機

廢棄は戰爭を誘發すると ロイドジョージ侯が强調

【ロンドン二日發電通】曾つて印度事務省政務次官として極東問題の權威であるロイドジョージ侯は二日付ニユース・クロニクル紙に太平洋の危機と題する長文の論文を寄せ日本のワシントン條約の原則の維持の必要なる旨を左の如く强調した

重要なる問題は日本の政治家が滿洲國に關して日本は調整を施せるワシントン條約の原則を遵守するを利益であると眞に知るに至るか、それとも又軍部的勢力が將來の對支政策を行ふか否かといふ事である右の内第一の場合は防禦的安全感の平等に關する新海軍方式の發見に何等の困難を來さない、然し第二の場合には新たなる海軍競爭が訴致さるゝその結果重大なる戰爭の危機を導くであらう

再開しても 四月以降

松平代表一旦歸朝

【東京二日發】ロンドンにおける豫備會談は現狀のまゝの再開は殆ど絶望視される實情にあり、何れにしても一月下旬乃至二月上旬には最後的[illegible]が豫定すべき見込となつたので廣田外相は豫備會談の經過報告と今後の方針打合せのため右時期に松平大使の歸朝を求めることとなる模様である然して豫備會談が再開されるとしても四月頃の見込であり直ちに本會議を開くこととなつても五月上旬より約二ケ月に亙る大英帝國會議の關係より七月以降の見込であるから何れにしても右再開までには同大使はロンドンに歸任する筈

孤立は 不可能

ニユーヨーク タイムスの社說

【ワシントン一日發聯合】ニユーヨーク・タイムス紙は當地二十一日の社說において日本の華府條約廢棄通告に關し左の如く論じてゐる 日本の華府條約廢棄通告は條約の規定に依り當然日本の有する權利である、今回日本の執つた方法は決して上手であつたとは言はれない、日本としては現在の條約が氣に入らなければ各國

約は後四年で滿了することになつてゐるのであるし、日本が夫れ迄待つた所で別に國防に差支へはなかつたであらう、何れにしても條約の規定に依り關係各國は善後策を相談する爲近く會議を開くことになるであらうが夫れ迄日本は現在の孤立不可能なる世界に在つて獨り住むことが如何に望ましくないものであるかを充分悟るであらう、日本の孤立を以て國の地位が高まつたものと得意になつてゐるものもあるが一方には日本が世界の平和達成に努力を辭せぬと觀られることを喜ばぬ讀者も多數ある

大演習發表は 偶然の一致

ス米海軍長官言明

【華府二日發聯合】去る二十九日發表された本年五月の米海軍大演習計畫は時恰も日本の華府條約廢棄通告と日を同じうした爲異常なセンセイシヨンを與へたが右に就き二日スワンソン海軍長官は左の如く語つた

日本の華府條約廢棄通告と日を同じうして爲されたのは單なる偶然であつて何等特別な意味のある譯ではない、演習に就ては二月前にも發表された筈である演習區域が東は太平洋岸より北はアリユーシヤン、西はミドウエイナイトと云ふ非常に大袈裟に聞えるが實際はアメリカの版圖に包まれた海の上での事である唯從來と異つた方面に其範圍を擴げたに過ぎぬ、吾人は米海軍が何日如何なる海にても活動し得る樣訓練して置くべく希望して居る次第である

孫科北平訪問

【北平二日發電通】立法院長孫科は一日朝來平午後三時より政務整理委員會で黄郛と會見北支における政情及日支關係に就き詳細説明したる後千九百三十五年度における對日外交方針に就て懇談したが孫科の來平は時節柄注目されてゐる

國策審議會が 政戰の導火線

政府が政友の反對を押しきつて 休會明け議會に提案

【東京三日發】政府は昨年末に至つて大藏省と各省との間に諒解成立した各特別會計豫算並に國策審議會の具體案は來る七日の閣議において決定する筈であるが、此の内閣審議會設置に伴ふ豫算を追加豫算として休會明議會に提出する事となつてゐるが、國策審議會には政友會が反對して來てゐる關係上、此の豫算に對しては政府、政友會の間に相當緊張した場面を展開すると同時に政友會内の贊否兩論の對立等も惹起する虞れがある爲此の問題の成行は頗る重視されてゐる

戰亂の發源地 バルカンに平和風

佛伊兩國が新協定を締結して 相互不可侵を誓約

【ローマ二日發聯合】佛國外相ラヴアール氏は愈々三日パリ發の夜行でローマに乘込みムツソリニ伊首相と會見しオーストリヤの獨立保障並に接壤國の相互不可侵を骨子とする協定の實現に努力する事となつた 新協定は左の如き二方式を執り第一方式はラヴアール佛外相ローマ滯在中に調印をみるものと期待される、即ち

一、伊佛兩國聲明案

佛國及び伊國はオーストリヤの領土保障並にその獨立に關する原則を再聲明する

二、接壤國協定案

伊國、ユーゴースラビヤ、チエツコスロヴアキヤ及びハンガリーはオーストリヤ並に相互の内政に干渉せず且つ如何なる侵略的行動にも出ぬ事を協定する

といふのであつて右内政不干渉協定實現の曉にはバルカンの險惡なる空氣を緩和し更にユーゴースラビヤ兩國間の關係改善に資するものとして大いに期待されて居る、多分ラヴアール佛外相のローマ滯在中に

イタリヤ、ユーゴースラビヤ、チエツコスロバキヤ、オーストリヤ及びハンガリヤに各自その何れかが今後何等かの行動に出でんとする場合は豫め相互に協議すべき事

を約する一の「協議條約」の締結を見る事とならう

佛中銀總裁 二日更迭さる

【パリ二日發電通】フランス政府は二日フランス中央銀行總裁にジヤン・タンネリー氏を任命し同時に前總裁モレー氏を名譽總裁にする旨を發表した、總裁の更迭に關し政府當局は「政府はフランス中央銀行が從來より一層活潑なる政策をとることを希望する」と聲明してゐる、タンネリー氏は千九百二十六年以來同行理事に任せられ現在基金設定の功勞者でインフレーシヨンには反對であるが資本の梗塞を防ぐため短期公債を發行して金融を緩和すべしと主張してゐる

國鐵收入は大黑字

貨車四千輛を新造して 乘客偏重から貨物主義へ

【東京三日發本社特電】國鐵の本年度貨物收入は一月一日迄の實績により一億六千二百九十二萬七千七百十圓で昨年に比し千六百十八萬八千三百五十五圓の增加を見せ總發送輛數も五千六百六十二萬三千二百六輛でこれ又四十五萬五千九百六十七輛を增してゐるが此黑字の反面に稀に見る貨物の圓滑なる輸送をする事が國鐵所有總貨車約一萬輛では到底不可能で昨年十月初旬から年末迄每日約四萬輛の貨物が運搬出來ずに一日輸送を繰延べると云ふ情無い實狀にあつた殊に一萬輛中の約半數は老朽のくたくたに疲勞した貨車である等改良は可成り久しい間の懸案であつたが昭和十年度は貨車改良第一主義の下に千三百萬圓の巨費を投じて貨車を約四千輛新造することになつた即ち十年度鐵道豫算は改良費八千六百萬圓を計上してゐるがこの三分の一の二千六百萬圓が車輛費でその半分を貨車に他を機關車、客車、ガソリンカー、ヂイゼル車等に充てるが貨車に千三百萬圓を計上したことは未曾有のことで旅客重視に偏してゐた輸送方針から貨物へと轉向した事を裏書してゐる、これで惱みの貨車不足を

加州大學に 新渡戶講座

ス博士の提唱で基金も集り 四月から開講する

【東京二日發】日米兩國親善の爲め歷史的に大きい足跡を殘して客死した新渡戶稻造博士と最も因緣の深かつた北米カリフオルニヤ州の加州大學の總長スプラウル博士の提唱に依つて同大學に新渡戶講座設置の企てがなされ日米兩國の關係文化促進にその[illegible]してゐたがこの程新渡戶講座開設の基金として我外務省、國際文化振興會から夫々一萬圓、日米關係に最も交渉の多い[illegible]から六萬圓計八萬圓の寄附が集まつたので愈々來る四月から開講せられる事に決定、擔當講師については目下[illegible]中である

將來の宿題

ニカラグワ運河は ス米海軍長官言明

【ワシントン二日發電通】ヴインソン米下院海軍委員長の提唱しつゝあるニカラグワ運河開鑿に關しスワンソン海軍長官は從來沈默を守つてゐたが二日同運河開鑿の必要なき旨左の如く語つた

海軍當局はニカラグワ運河開鑿に就ては明確な態度はとつてゐないが同運河を今直ちに必要とする理由もなく又世界の經濟情勢から言つてもその正當性を認めない然し四十年又は五十年には經濟活動の進展に伴ひ新運河開鑿も必要になるだらうし、それが出來れば海軍にも便益を與へるであらう

朝野兩黨が 二日勢揃ひ

民主黨の與黨 振りが注目さる

【ワシントン二日發電通】近く開かれる新議會を前にして民主、共和兩黨は二日夫々議員總會を開き左の如く役員を決定した

▲民主黨

下院議長候補 ジヨゼフ・ベーンス 下院院内總務 ウイリアム・バンクヘツド 上院議長代理 キー・ピツトマン 上院院内總務 ジヨゼフ・ロビンソン 上院院内幹事（ハルミトン・ルキス）

▲共和黨

下院院内總務 バートランド・スミス 上院院内總務 チヤールス・マツクネアリー

尚民主黨總會においては「百八十名以上の署名にあらざれば委員會に提出された議案を本會議の投票採決に問ふことを得ず」といふ新規定を採決した結果左派ブロツクが政府のプログラムを阻へし又は極端な法律案を提出する機會は著しく減殺され政府の議會統制權は一層强化されることとなつたのである

ザールの回收は 最大の希望

ヒトラー氏宣言す

【ベルリン一日發聯合】ヒトラー總統は元旦に際し一九三五年に於ける獨逸最大の希望はザール領域の回收に在るとてベルリンより全黨員に對し次の如く宣言した

ザール領域の所屬決定に關する人民投票は來る一月三日決行されるが此の失はれたる獨逸の領土を回收することは、一九三五年にかける吾等が最大の希望である、ザール住民は其の日彼等の血から出る聲を以てザール領域が獨逸と不可分的共同體であることを叫ぶであらう、一九三五年の獨逸は一九三四年初頭のそれではなく遙かに强力であり更に昨夏のナチス政統治以來我がナチスも又全國民の實際政治的意思をより良く體してゐるのである

高橋文書課長

二、四日發上京

四月一日公布される見込みの地方制度改正の律令案は目下法制局において審議中であるが議會の關係等で色々な支障を來す恐れがあるので出來るだけ進行を計ることになり右説明のため高橋督府官房文書課長は四日の便船にて上京することになつた

臺灣神社 元始祭

午前八時執行

臺灣神社における元始祭は三日午前八時から執行され中川總督、寺内軍司令官を始め文官總代平塚總務長官、武官總代藤田守備隊司令官、民間總代松木電力社長等の玉串奉奠あり八時四十五分閉式したが小濱、石垣、田端、安武各局長、堀田交通局長、幣原臺大總長、竹内高等法院長、伴野高等法院檢察官長、野口臺北州知事、宇賀、水越、中辻、郭廷俊の諸氏を始め多數參拜者があつた、同建功神社にても午後九時から元始祭を行つた

佐藤參與官 上海經由歸京

拓務省佐藤參與官は臺灣の視察を終り其の序を以て對岸の視察を爲す事になり二日出發したが、對岸視察の上一應臺灣へ歸つてから歸京する日程もあつたが議會等の關係で臺灣へは歸着せず其の儘上海を經て歸京する事になつた由

臺灣官民へ謝電

拓務省の佐藤參與官は既報の如く二日朝大球丸にて福州に向つたが同日同船より無電にて本府長宛次の謝電が屆いた

臺灣を去るに臨み貴地官民諸賢の懇篤なるお迎へを謝す

小野巡査を 犬死させるな

玉里方面での待望

花蓮港廳下玉里地ターフン駐在所の小野巡査行方不明事件については同廳警務當局との疑ひ晴れず陣容を立直して捜査を續けるといふ警務局の方針に現地側でも承服してゐるがタルナス社が廳下の模範蕃社であるとか、木林巡査部長に居午公營等が石廳警務局長を訪問したのは自己の捜査上の不明を謝する爲めであつたなどといふ放送は甚だ事實に遠いとの苦情もある模樣である、即ちタルナス社の仁頭目バネトル時代の大正四年五月十七日には蕃ターフン駐在所は地元蕃のために襲撃され田總警部以下十二名殉死してゐるし又木林、[illegible]兩人の出府は現地の實情を直接警務局に陳情說明する爲めであつた由、同地元蕃里方面にかては今回の陣容立直しに依り小野巡査を犬死させず其の蕃を弔ひ且つ警察の權威を一日も早く恢復することを只管待望してゐると

臺灣酒の 移出解禁

出港稅も決定

臺灣より内地に酒類を移出する件に就ては從來臺灣が内地と同じ[illegible]の稅金を課せられてゐなかつたため、之が實現するまでは内地の稅法によつて臺灣酒の内地移出は禁ぜられて居つた、そこで臺灣專賣局は昨年來「又新酒の移入防遏、從つて國際貿易の一部改善及び内地酒造界に影響を與へることなく臺灣酒の發展を期する」といふ建前から大藏省並に拓務局との間に折衝を重ね種々研究の結果漸く左の如く實現を見るに至つた、卽ち昨年十二月二十九日附にて臺灣酒類出港稅令（勅令）同施行規則（府令）同取扱規程（訓令）[illegible]令施行規則中改正（府令）等の關係法規が發布され、愈々臺灣酒も出港稅なるものを拂つて内地に進出することが出來るやうになつた右の諸法規によれば大體左の如くである

酒の種類…所謂臺灣酒であつて清酒、米酒、麥酒などは内地の酒造家の利益を害するといふので之等は移出出來ぬことになつてゐる それで内地へ移出されるものは老紅酒、五加皮、玫瑰露酒、紹興酒等であらう

出港稅…此の稅率は内地の所謂造石稅と同一であつて之によつて内地との均衡を圖らうといふのである、而して其の稅額は酒精の含有程度で各々異るが大體は一石四十圓以上となるであらう

指定港…臺灣酒の移出港は取締の必要から基隆と高雄の兩港に限ることとなつた

その他臺灣酒の内地移出をなさんとする者は出港稅を納付して出港許可書の交付を受くべく、又專賣局長に申請して酒類を安價に買受けることが出來るが、一方に於て右の諸法規に違反したときは夫相當の處罰を受くることは勿論である、而本制度によつて若し臺灣酒が將來内地向の風味に漸次改良され支那酒を全く驅逐するに至るときは十萬圓程度の輸入防遏を結果するであらうと豫想されてゐる

新春の第二船 大和丸入港

岡田、中瀨兩局長等 名士多數を乘せて

【基隆電話】新年入港第二船大和丸は政治期節の小閑を得ての歸臺者や避寒客を乘せ豫定を早め三日午前十一時四十分港内に入つたが船客數は一等十八名を加へ百四十一名と云ふ數で新春初頭と云ふ感を覺えさせる、主なる船客は財務局長岡田信、殖産局長中瀨拙夫、帝國製糖社長松方正熊、日魯漁業副社長平塚常次郎、督府技師安藤榮夫諸氏等である

岡田局長談

臺灣豫算の成功なんて程のことぢやないです本年度の總額一億一千九百萬圓内新規事業に關するものは約二千八十萬圓となつてゐます可成り盛澤山で、その内主なる項目は基隆港擴張費、北基隆間縱貫道路鋪裝費、油田調査費、下淡水溪架橋費、安平港改良費、飛行場設置費、初等教育充實費、大學醫學部新設費、鐵道改良費が主なる所ですが總額から見れば前年度より八百數十萬圓の增加と云ふ事になります臺灣議會は議會解散を氣構へて疑問視されると云つても假に解散となれば更に臨時議會に提案する方法もあるもそれに大體政府としても政黨としても解散回避の空氣が可成り濃厚に動いてゐましたからそんなことは結局杞憂となるのではないでせうか

中瀨局長談

米穀問題はその後小委員會で審議されて殆んど纏りがついてゐます、この十一日にもう一度小委員會を開いて成案を作り上げ十五日の特別委員會十八日の總會に夫々附議して大體統制委員會を片附ける運びとなつてゐます何それに續いて二十日頃更に米穀生產費調査會が開かれる事となつてゐるので十一日安藤技師、十五日に自分が參加の爲上京する豫定になります、それに又須田君も幹事として參加する筈です米の問題は可成り複雜した事ながら、その價格を全く内外無差別にすると云ふ見地から日本全體を通ずる米の需給關係を調節すると云ふ原則的の見地になりかかつてゐるのは實に結構な事です、これが爲め統制組合をして米の需給生產を夫々内外に按分し徒に市場に放散させぬ樣な方法を執るとか若しくは最低米價を以てこれに對するとか云ふ樣なことも必要だと思つてゐます、それから臺灣合同は昨秋の懇談會に於て土地評價や工場評價を行つて大體の見當をつけ合同參加を決定したい希望の下に三菱や鹽水港の業者に當つて見た結果異議がないと云ふことになつてその第一段として工場調査を進行せしめてゐます、此十七八日頃には完成するでせうから今度上京した際參加の意思表示を得てそれから合同事務を進行させたいと思つてゐます

大アジア協會 結團式

三日盛大に

【高雄電話】大アジア協會高雄聯合支部結團式に特派された同協會常務理事下中彌三郎、滿洲國教授佐藤佐氏は三日午前八時八分着急行列車にて來高大聯合旗を先頭に各々小國旗を手にせる數十名の團員の盛大なる出迎を受け直ちに團員と共に高雄神社に向ひ同九時より社前にかて竹下宮司主祭の下に結團式を擧行した、參列團員は松尾榮治、坂田國助、兒玉大尉、安東彦市、楠田卓藏、齋柳二郎の諸氏外數十名で一同御祓を受けた後下中氏[illegible]柳氏神前に宣言文を朗讀し君が代を合唱して式を終り參列者一同記念撮影をなした後公會堂に引揚げ同聯盟結成に關する座談會を開き佐藤教授、坂田、松尾諸氏の意見開陳あり團員交々互に隔意なき意見を吐露して懇談をとげ正午晝食を共にして[illegible]强調裡に午後一時散會した因に同聯盟事務所は市内堀江町一ノ六中島氏方に置くこととなつた

臺北消防 出初式

けふ新公園にて

自動車ポンプ、蒸氣ポンプの精鋭を集めた臺北消防組の出初式は四日午前七時から左記順序に依り新公園に於て擧行される筈であるが開式前一時間花火二發を打揚げると

一、開式の辭二、國旗揭揚三、令旨奉讀四、令旨奉答五、組長人員報告六、警務部長服裝及器具點檢七、喞筒操法及梯子乘り消防演習八、警務部長訓辭及報告九、消防組員勳章表彰一〇、知事訓示一一、來賓祝辭一二、組長答辭一三、酒肴料交付一四、大日本消防歌合唱一五、國旗降納一六、閉會の辭

貴院議員一行

花蓮港を視察

【花蓮港電話】貴族院議員松村義一、大塚惟精、次田大三郎及び元宮崎縣知事有吉實四氏一行は二日午後六時來花三日午前八時半花蓮港神社參拜、吉野村、吳全視察[illegible]の爲めタロコ行を見合せ午前十時三十分花蓮港發臺北の途に着いた

土曜會新年宴會

臺北土曜會では五日正午本年の新年宴會を兼ね例會を鐵道ホテルに開く由

手貝課長送別會

花蓮港廳警務課長に榮轉の手貝彰化警察署長送別會は佐藤市尹、李崇禮氏等發起で四日午後四時から彰化公會堂で開催の筈

人事

▲平塚常次郎（日魯漁業副社長）一月三日來臺（日之丸館）

▲中村清二（東大名譽教授）四日内地へ

▲菊川清作（京大教授）一月三日歸北（日之丸館）

▲古閑齊助氏（新東里警察課長）四日午前八時五十分花蓮港發列車にて赴任の筈（花蓮館滯在中）

▲手貝千代志氏（花蓮港警務課長）五日午前十一時五十分彰化驛發上り列車にて出發する（臺中館）

▲淺野義雄氏（彰化警察署長）六日午前六時三十分彰化驛發の列車で赴任の筈（臺中館）

▲田邊益一郎氏（臺灣無盡會社取締役）一日發吉野丸にて約三週間の豫定で内地へ（臺中館）

クチナシ

目下早大理工學部長をしてゐる山本忠興博士はテレヴイジヨンの世界的研究大家として、又日本[illegible]の幹部として名ある人だが、殊に昨年の極東オリムピツク大會では、日支の[illegible]を巧みに[illegible]し、スポーツから日滿の提携に新局面を打開させた人▲若い時にも[illegible]がある、殊に督府[illegible]の井手技師と中澤博士とは三高時代同じ[illegible]に起居してゐただけに[illegible]の間柄▲同博士の[illegible]井手氏、中澤氏が[illegible]、曰く「井手君はアノ頃から記憶がよく、何しろ大學前本鄉通りなど[illegible]的に暗記してゐて友人を驚かせたものだ中澤君は其頃から[illegible]があつた、現在のヤギ式はその名殘かも知れない」▲山本博士は東大工科の電氣科を三十八年に卒業し芝浦製作所で電氣機械の設計に從事し、四十二年には獨逸に留學、歸つて早大に入つた、倫敦の動力會議などにも出席した事があり、昭和六年には、テレヴイジヨン發明に關し既くも金一千圓の恩賜金を[illegible]つた▲先頃の[illegible]に頭[illegible]など眞黑で「反對に年を取つて若返つてゆく」と昔から云はれてゐる程の元氣さ、それも亦スポーツの賜物だらうとの[illegible]

おいしくて 割がきく
ヒゲタ醤油
美味！景品！の兩手に花……
お求めは今！直ぐお役にたつ景品！もれなく進呈
●一本詰（一五入）御買上毎に
△上等蓋つき御飯茶碗 一組 呈上
ヒゲタをおすゝめする譯！
色です、香です、それから生れる眞の味です、しかもごく安價で[illegible]
[illegible] 銚子醤油株式會社

明けましておめでたう存じます
本年も不相變御引立を御願申上升
美給連サービス滿點
是非お越し下さい……
カフエーほまれ
臺北市西門町一丁目二番地新世界前 電話二九八〇番
階上には新座敷が出來て居ります 新年宴會にも御利用下さい……
簡易輕便 食（心地良き）
ほまれ食堂
臺北市西門町市場表門通り
新古書籍 典範類一式
平光書店
臺北市新起町一丁目十二番地 電話四〇八〇番

株券改刷ニ付新券引換公告
當會社現在發行ノ（壹株ニ付金五拾圓全額拂込濟及金參拾七圓五拾錢拂込濟）株券ハ記號數種ニ分レ尚且損傷甚シク取扱上不便尠カラザル爲株券改刷致シ候ニ付來ル昭和十年一月七日ヨリ舊券ヲ新券ト御引換可仕候間此段公告候也
昭和十年一月四日
東京市麴町區丸ノ内二丁目十八番地
昭和ビルデイング六階
大日本製糖株式會社出張所

謹賀新年

高雄市協議會員（いろは順）

潘致祥
陳啓川
李新春
林塗盛
渡邊四郎
吉井長平
葉鴻獻
武井羽二郎
塚本憲一郎
松田宏一
眞砂由次郎
船橋武雄
安藤彥市
宮川精九郎
清水義治
芝忠一
平田末治
東本定楠
森尾昇
杉本三郎

大連汽船株式會社 高雄出張所

國際通運株式會社 高雄支店

高雄 御旅館 **吾妻支店** 電話長貳參參壹番

高雄海人草採取組合

石橋寫眞館 高雄市堀江町壹ノ五（電話貳七八九番）

高雄驛前 貸切 高級 **中央自動車商會** 電話參〇五貳番

自轉車附屬品販賣及修繕 高雄市堀江町貳ノ壹〇 **陳榮自轉車商會** 電話貳貳六六番

高雄市山下町 **安藤藥局** 藥劑師 安藤彥市

新興製糖株式會社 取締役社長 **陳啓峰**

恒春郡役所食堂會員一同

恒春郡 **恒春庄役場職員一同**

恒春郡 **車城庄役場職員一同**

恒春郡 **滿州庄役場職員一同**

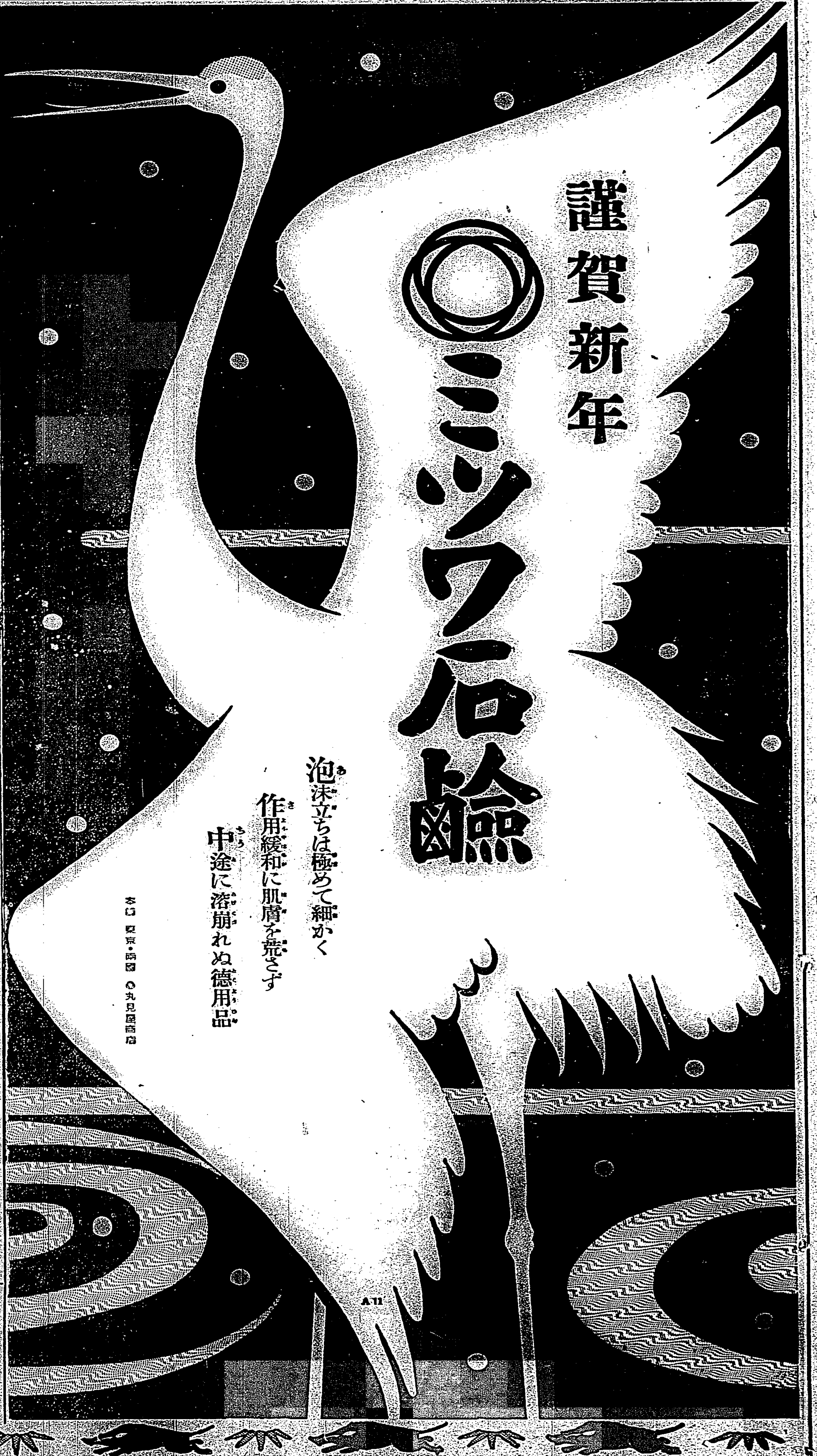
保證責任 **恒春信用購買販賣利用組合**

保證責任 **車城信用購買販賣利用組合**

滿州信用組合

恒春電氣株式會社

恒春庄 **はまつ旅館**


謹賀新年
ミツワ石鹼
泡沫立ちは極めて細かく
作用緩和に肌膚を荒さず
中途に溶崩れぬ德用品
本舖 東京・兩國 丸見屋商店

四重溪公共浴場 **山口自動車部**

屏東市尹 **伊藤完二**

平山寅次郎 屏東市

大森丈之助（屏東）

白木原民次 屏東

御料理並に食堂 **井筒** 屏東 電話壹七番

御料理 **梅園** 屏東電話四參番

屏東驛構内 貸切自動車 木瓜果物賣店 **太田屋** 店主 太田兼次郎

屏東 **懷德醫院** 郭清 電話一參壹六番

會席御料理 **第一樓** 電話五參八番

高雄市 **平山益男**

高雄驛前 **春田館** 電話參貳四八番

謹賀新年
潮州郡產業組合共榮會（イロハ順）
有限責任 萬巒信用販賣購買利用組合
有限責任 枋寮信用購買利用組合
有限責任 潮州信用購買販賣利用組合
有限責任 大和信用販賣購買利用組合
有限責任 新北勢信用購買利用組合
有限責任 新埤信用購買利用組合
有限責任 水底寮信用購買利用組合

西洋御料理 **觀山亭** 屏東 電話壹參九番

潮州郡
潮州庄長 城戸彥市
萬巒庄長 劉安紅
內埔庄長 鍾幹郎
竹田庄長 李才祉
新埤庄長 草野安二
枋山庄長 王啓智

旗山產業組合研究會

土木建築請負業 高雄市山下町 **大野組** 電話貳〇參四番

臺灣產業協會 高雄州支會旗山町分會

潮州驛前・電話八番 **潮恒自動車株式會社**

新涼旅館 潮州三角公園角・電話壹〇番 西岡ツネ

潮州公園通 電話九番 **陳通**

愛生醫院 潮州郡役所通り 電話參貳番 醫學士 王炳水

潮州 **高瀨光造**

有限責任 **潮州信用購買利用組合**

高雄青果株式會社 社長 **藤田品之**

高雄市 **吉岡鐵店** 電話貳〇參參番

株式會社 **國際運輸組** 高雄市新濱町參丁目四、五番地

高雄市榮町 **タサカ寫眞館** 電話貳六壹〇番

花蓮港街 **荒尾角次**

嘉義市西門町 甘口味噌 各種醬油 **革新商店** 黃萬得

嘉義郡中埔庄頂六 **村連盛商店** 同 同 精米工場 同 同 旅館 同 同

米穀日用什貨 商 **瑞生商店** 嘉義市西門町三丁目一五 電話七四七番

嘉義市西門町七ノ三九 **福島精米所** 電話貳五參番

高平醫院 嘉義郡中埔庄頂六 東京醫學士 高平增辛 同 小梅庄公館 東京醫學士 高平增璿

カフエー **スズラン** 嘉義市榮町・電話七參〇番

臺南 **八代豐吉**

臺南 **內藤二郎**

臺南米穀商聯合會
臺南籾市代行組合
事務所 臺南市東門町一丁目

千代田生命保險相互會社 臺南會所 監督 **明石榮太郎** 臺南市大宮町四ノ一八 電話八〇番

臺南市協議會員

千葉才治
櫻井齊
川崎二三
川中忠五郎
小出平左衛門
川村彌永吉
中島貫一
西川善三郎
佐藤由松
野坂新太郎
松崎翠
堀內明
島津秀太郎
庄司常治
王開運
許清江
謝恒懋
沈榮
翁金護

田村組臺南出張所 臺南市大正町三ノ五 電話參五五五番

カフエー **滋養軒** 臺南西門町

カフエー **オランダ** 臺南市 電話貳七番

レストラン **臺灣樓** 臺南銀座 電話六參番

臺南 **永野直**

臺南 **青柳健一**

臺南 **大井司**

內科兒科 **伊藤醫院** 臺南市錦町壹ノ五八 電話四八番

同光醫院 醫學士 **黃廷楨** 臺南市本町壹丁目

營林所指定商 阿里山 八仙山 太平山 檜 丸太 製材 販賣品 嘉義市榮町四丁目一番地 **榮發材木行** 店主 石四 電話七壹六番 出張所 嘉義驛前

嘉義露店會 會長 陳萬一 外 同添

臺南市銀座 **田中寫眞館** 電話九八壹番

臺南市本町 洋品 婦人子供 生地 專門店 **日吉屋** 電話九參番

臺南銀座 履物 旅館 **正直屋**

株式會社 **臺南大舞臺** 臺南市西門町 電話壹〇貳番

嘉義市躍進發展の基礎ここに定まる

附近六郡を膝下に踏へて

東天に聳ゆる靈峰新高、阿里山の彼方から新春の大陽は輝き、肥沃萬里の嘉南大平野を照らすそこには去年の疲弊はもう早や思ひ出となつて解消され生きあるものは新春の輝かしき希望と溌剌たる清新さだ！嘉義產業の中心地嘉南大平野の心臟部たる嘉義市は茲に市制五周年の新春を迎へて先づ交通機關の整備鐵道へと乘出し近郊各主要部落との連絡を密にして劃期的一大飛躍をとぐべき準備工作を完了した、見よ嘉義—北港、嘉義—關子嶺間の近き將來にかける時間的短縮其他朴子、新營、斗六、虎尾各地間の驚くべき近接し來れるこれは郡部にかける著しき農業生產の躍進、重要部落をつなく道路網の完成等々と相俟つて益々生產能率を高め、嘉義ブロックの經濟力培養となつて必要なる文化施設完成への底力を與へるであらう、斯くて嘉義市を盟主とする一市六郡よりなる所謂嘉義ブロックは愈々强化され輝かしき將來を約束されるに至つた

澎湖島民よ天與の寶庫を拓け

寶は島民の眼前に横たはる

悔を千秋に殘すな

澎湖の八方里面積の大半は農耕地として既に利用し盡されて居り將來に向つて開拓の餘地としては殆どないと云つて好からう、從つて現在の倍加の增收を此陸上產業から得ることは經濟の困難で寧ろ不可能のことに屬するかも知れぬ然るに水產業の方面は如何と云ふに澎湖全島第一の長い海岸線を有し、而かも沿海の海底は主として珊瑚礁となつて居る關係上定着性の水產動物植物の棲息には持つて來いであるばかりでなく、海洋中の孤島であるから廻遊性遠洋性の魚族も亦手近くに迄やつて來るので臺灣產の魚で三百種を超えると云はれて居る、斯る狀況に在る故に澎湖は古くから有名な「フオルモサバンク」を始めとして價値多い漁場に澎湖列島は抱擁されて居るのであつて、從つて此環境の感化は漁民も早くから水產業に向はれて居て基隆、高雄兩港の發動機漁船乘組員の中で本島人漁夫の大半は澎湖人だと云ふことからして此點は明である

澎湖廳下で水產業に從事して居る者の數は實に一萬二千人であつて之れを廳下總人口六萬二千餘人に比較する時は實に二割五分に當るので、如斯類例は他に到底見られぬであらう、此樣な狀態に在るので、水產年產額も漸く昨年は百萬圓に達し漁獲高では臺灣全島中臺北、高雄兩州に次ぐ第三位を占め今や一路躍進の機運に向ひつつある事は差に喜ぶ可き現象で欣快に堪へない所である然るに此の天與の好位置を占め水產業振興に對しては國家的に特殊の使命を持つ澎湖島としては現在に於て未だ〳〵不振極まる者と云はねばならぬ、即ち魚類の王様たる鰹が日本國中一番不漁の時期に於て、澎湖は丁度產卵期に當つて居り最も美味なものを深山漁獲することが出來年年內地に移出して相當の成績を擧げつつあることや、本邦重要漁業である、鰹漁業に缺く可らざる餌料の鰯が他所では或時期しか獲れないので非常に若しんで居るに反して、澎湖では殆ど周年漁獲される點及び內地兩地共に現在では在來の漁場は荒廢し切つて新規漁場の發見に四苦八苦して居る際、昨秋頃から澎湖附近に亙る有望なる珊瑚漁場が發見されたこと、及び嘉坦附近に所謂鰮群の蝟集し居ることは本邦に於ても手繰網の好漁場として首位を占めて居る點等は確に海の寶庫たる名稱に背かぬ天與の寶藏と云はねばならぬ

是等天與の寶庫を拓くと否は實に澎湖島民の努力の如何に繫る所で此點島民たる者猛省自覺大いに奮起して更に活躍するにあらざれば折角の寶も他に搾取される恐れがあり、寶の山に入つて寶を得ぬと云つた恨みを千秋に殘さねばならぬ、現に冬の鰮の內地移出事業は各方面から注目されて居り內地の某有力會社の割入運動が猛烈に手品を代へて行はれて居る樣である又珊瑚漁業の如きは今から基隆方面の當業者が虎視眈々として待ち構へて居る有樣である、其他餌料問題にしろ鮪鰹漁業にしろ、一方の油斷も許されぬ狀態に在つて、情勢は島民の積極的大奮起を促して居り而して澎湖の水產業進展の前には官民一致努力せねば到底その目的達成は困難である、是等進展の前に例年の熱望として懸案になつて居る馬公漁港の築造である、此促進に就ては島民全部が奮起して此目的達成のためには如何なるものも犧牲にしても止まぬと云ふ氣慨を以つて本年は一大邁進をなす可きである、蓋し此事の達成は澎湖の寶庫を拓く第一前提であらう而も島民が永久に生く可き道の地方施設であるからである

次に馬公に中等程度の水產學校の設置である、澎湖に水產學校の一ケ所位が必要なことは當に當局に於ても考慮に入れて居るであらう基隆と高雄に近年盛んに實現運動が行はれて居る樣であるが、四面環海にして魚族は前述の如く全島一の豐富であり氣象、海況等海の若人を育てるには澎湖の總てが理想的の好適地であり生きた教材である、漁撈實習に製造實習に恰好の在地として航海運用術の練習に多大の便益あることは到底他に此好條件を持つ所は澎湖以外にないのである、此狀況に對しても澎湖官民は一大努力の要がある

新春の嘉義のスポーツ

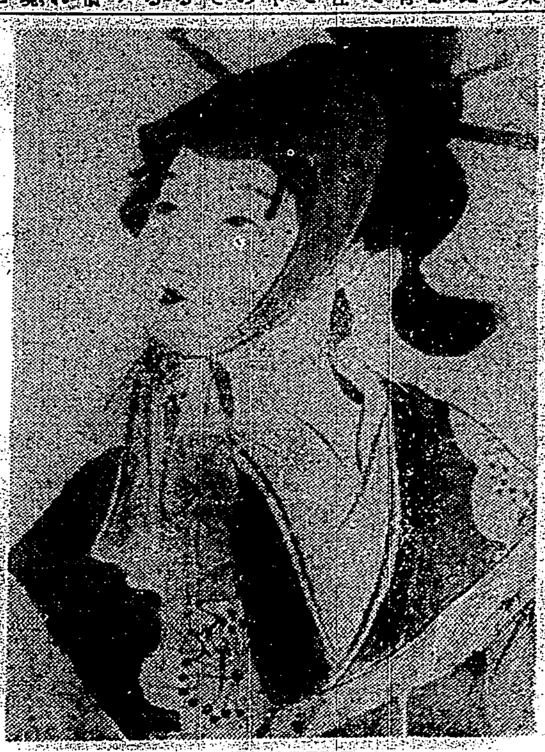
△一日、二日　第十一回全島軟式庭球選手權大會　協會コート

△三日、四日　第三回全島中等學校選拔野球大會　嘉義公園球場

△五日　中南部陸上競技大會　嘉中グランド

△八日　早大招聘野球試合對嘉義聯盟　嘉義公園球場

△十九日、二十日　嘉義市制施行五周年記念全島支部對抗野球大會



春駒　野村誠月氏畫

國語常用により明るい張君の家庭

附近、羨望の的となる

張成堯君及夫人と長男

公學校を出ると親元を飛出した一介の靑年が國語の常用によつて明るい家庭を築きあげ、羨望の的となつてゐる、嘉義地方海岸特有の烈風が塵埃と砂塵とをつきまぜて文字通りの黃塵萬丈の中をガタガタ自動車が走つてゐる、この自動車は途中で朴子街を經由して（臺託かないので自動車は既に船のやうに搖れを捨つて通り過ぎる）二十分程で方向を轉じて東石に向ふが下朴子東石出所前で下車してもの の一里も徒步と嘉義州東石郡東石庄塗庫といふ戶數五百人程の小部落に出る、此處の坂本農場管理人張成堯君（當二十九年）がその人だ、張君を訪問した時どうしても探し當らなかつたが試みに妻君が國語の話せる人だと尋ねたら忽ち解つて保正の子供が案內して吳れた「片田舍で何もありませんが、どうぞお茶を！」と茶菓をすすめる夫人は立派な國語で訪問者の下驚を拔いたがこの人は九年前張君の許に嫁した時は國語の片言も話せなかつたさうだが主人の熱心に動かされて發奮し近所の內地人を手本として聽き覺えに習得したのださうだ、昨年朴子街で病死した六歲の子供さんは父母の熱心から全く內地人の子供と同樣に流暢な國語を話したので母親は時々子守と間違へられて

「貴女は何處の內地人の子守をしてゐますか」

と奇妙な質問に面喰つたものだ

「何と云つても內地人の近所に住んで毎日お話してゐないと駄目になります、困るのは手本として見習つてゐる內地人の國語があまり標準語からかけ離れてゐて解らない場合と近頃新聞雜誌に片假名の外國語が澤山使用されてゐることです、只今では時間の餘裕がありませんから他の人に敎へるなど考へられませぬ」

と張君の經驗談である、張君は新竹州竹東郡の人で公學校を出ると大正十四年に嘉南大圳工事場に勤め、それから北港、東石と轉々したが昨年五月坂本農場が管理人を募集した時多くの競爭者を尻目に時の農場主嘉義郡守の目にとまつて拔擢された嘉南大圳組合の監視員を辭して今日の職を贏ち得たのであつた

「官公署、學校等に奉職してゐるものでさへ家庭の國語常用といふことになるとなかなか困難であるのにあの靑年の努力は見上げたものだ、之は機會があれば表彰したいと思つて引繼の時もたのんである」

と前嘉義郡守の現か一番の感激に頷くのであつた（寫眞は張君夫妻と長男）

澎湖は國防上最重要地點

今後の施設を計畫中

軍隊駐屯地として、馬公の相應はしからざる、地方的施設の缺點に對する非難は、今始まつたことでなく、過去幾年永い間の問題である。而も當今の時局は終極に、帝國の南進的發展が強要され、國際は北から南に移りつつある情勢から見て澎湖の今後に於る地位は益々重且つ大となり、生產的に無價値な土地として從來の如く繼子扱ひにす可らざることは、四圍の情勢から見て明かである。然し遲々牛步乍らも、近年漸く馬公におる交通地方的施設も相次いであらたまり、十年一昔と現在とを比較する時は其處に驚くべき者のあることを發見する。之れ軍部の指導と刺戟に依つて、地方官民の發奮になる共力一致の結果であつて今後澎湖官民は此燃ゆる熱意に更に油を注ぎ從前努力す可きである以上の意味に於て、今後數ある地方施設の中で、最も急を要して可能性あり、機運熟し而も有利な事業は現大磐廳長が是非實現させ度いと、深謀更に慎重計畫中である

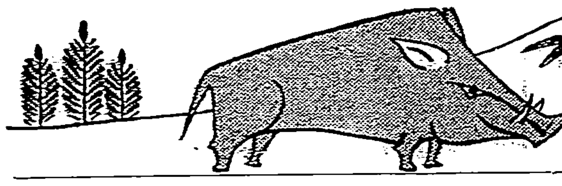
海岸の埋立

漁港の施設

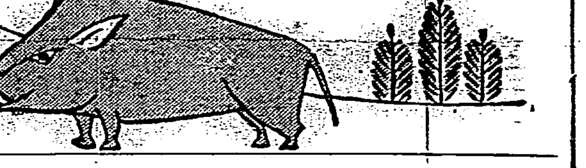
此の事業は街の事業とす可きか、廳の事業となす可きかは別問題として、本事業の概要と云ふのは斯うである

現在の松島記念館前、南北一帶の海岸を多年懸案中の國有に屬する砲の城壁を取除け、一大埋立工事をなすことである。然らば其方法等は之れを後日に譲ることにして、その埋立に因つて得る地面は何程になるかと云ふに、約一萬坪の海岸通りの土地が得られると云ふ、而して此の事業と相關聯して漁港にして公園らしい用をなさたいと非難されて居る、現在の澎湖公園の一大改修と整美が出來、更に一面に於て現在計畫中の市區改正の一部實施が生れ、更に又多年の地方的要望である遊廓地區を一方に併設し、約六千坪の造語りと區上高設をなすと云ふ所謂一石二鳥式な個目出度い事業である、而して本事業が實現性に有力な點は理論の上に於て既に可能性を示して居ると云ふ點に在る、卽ち埋立土地一萬坪を坪當り二十圓とするも此處に二十萬圓の金が飛び込んで來る、漁港施設その他に要する費用にして此二十萬圓で大した不足を生じないと云ふ、又此基礎的計算だにあれば不足分は、官府に補助を仰ぐことも亦決して困難でなからう

右事業の完成に依つて馬公の地方的施設上得る所の者は實に莫大なものであつて、今にして之を見れば、何ぞなすことの遲かりしの感じさへするが、何はさて措き本事業の遂行のためには、澎湖官民は更に結束して勇往邁進、その實現を期す可きであつて、昭和十年に於て本事業を是非實施す可く努力する必要がある



謹賀新年



塩水港製糖株式會社
臺南州新營郡新營街

分蜜糖
精製糖
酒精
資本金六千參百萬圓

臺灣製糖株式會社

富士　グラニュ糖
印角砂糖

本社　臺灣高雄州屏東
出張所　東京市麹町區丸ノ內有樂館
一手販賣　三井物產株式會社

躍進日本の第一線に立つ人々

ずらりと並んだジャーナリズムの寵兒

岡村二一

「第一線の人」といふからには、少くとも國家社會でダンビラをふり廻して見せてくれなくては、その資格がない。國際聯盟に「脱退」の手榴彈を抛り込んだ當時の松岡洋右（敬稱はすべて略さう。偉い人間といふものはとかく呼びすてにされ易いものだ）なんかは、華々しき「第一線」の標本の如きものであつた。ジャーナリズムの寵兒即ち「第一線」の人物と見てよろしからう。

高橋是清氏

高橋是清

ついこの間まで、スリ飯を食つて、まん丸く納人を養て日向ボッコしてゐた八十二翁（當時八十一）が、赤字非常時の現代日本へ、突如またもや躍り出して來た。しかも如何にホルモン注射がきいたからといつて、臨時議會における翁の華々しい戰闘ぶりはどうだつたか。完全に「岡田内閣の高橋首相」であつた。元總理大臣であり重臣である老翁を、十度目の大臣勤めに引つぱり出して「第一線の人」と呼ばせなくてはならぬことは、現代日本にとつて、決して名譽なことではない。にもかかはらず、五十歳の「青年大臣」を散々にこづきまはした所は、高橋を歡迎して、偶像崇拜とも見えるほど悦に入つてゐる。まてこれは高橋是清がズバ拔けて偉いためで世間は決してこけらの生えた骨董ばかりを有難がつてゐるのではないと解釋しておかう。

後藤と藤井

それにしても、五十の坂を越へた藤井や後藤を「青年大臣」と呼ばねばならぬ現代だ。しかも、その「青年」は元氣を意味するよりも時にむしろ、青さ、未熟さをさへ内容づけて人の耳に響くではないか。新官僚のチャムピオンとして岡田内閣の組成に參畫し、自らもまた副總理たるべき内務の椅子に座へた後藤文夫であつたが、いつの間にか、床次、町田の「副總」に押され、高橋の「起用」に影が薄くなつた。この事實は何を意味するか。そこには興味ある問題が内在する。後藤の「若さ」と見てよからう。曾て維新の志士が大業をとげて天下に號令したとき、彼等は大部分二十代の壯年であつた。ヒトラアは四十でドイツを握つた。尾崎行雄は三十八で大臣になつたが、格別の見劣りがしなかつた。官僚の力が、もつと張りきつてゐたら、後藤もあの椅子にもつと大きく構へられたらう。事實はその反對であつた。「副總理」としての後藤の存在は同時に新官僚の衰弟であつた。

後藤文夫氏

× ×

藤井眞信に至つては、更にこの感を深くする。彼は當代稀に見る俊才であるに相違ない。然るに彼は惜しいかな身を不然なる官僚の陣營に置いて立つた。彼の才も力もそのために災された。彼が臨時議會を直前にして病氣で倒れたことは眞に同情にたへないが、もし天が彼に毎日の健康を許したなら、我々は「官僚」を代表して苦行する痛ましき受難者の姿を彼によつて見たであらう。

藤井眞信氏

山崎と内田

政黨の急激な轉落を觀取して、スワ乘ずべき秋となし、勢ひ込んで駒を進めた新官僚は、かくて餘りにも早く、鼎の輕重を問はれてしまつた。その反對に評判の惡い政黨出身の二人の青年大臣が、日を經るとともに、却つて評を上げて來たことは皮肉な現象であり考へさせられる事柄でもある。

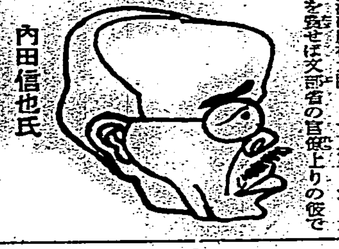
山崎達之輔氏

× ×

山崎達之輔と内田信也はともに床次に從つて政友會の黨議を無視して岡田内閣に入つた。黨人としては一種の裏切り行爲であり、決して賞められた行動ではなかつた。だが、内田はバラバラ内閣のかすがひとなつてよく走り、殊に十年度豫算成編に當つては、身錢を切つて、見事査定役をつとめあげたあたり、なかなかの男ぶりであつた。大臣になつてからの彼の無邪氣で朗かな行動は、時に見えすいた人氣取りとも受取れるが、少くとも政治を明るく見せる效果はある。

× ×

山崎も臨時議會の答辯ぶりで立派に農林大臣として及第した。元を質せば文部省の官僚上りの役であるが、頭はいい。策もある。その上に勉強好きである。その彼が政黨に入つて叩かれたのだから大きな強味である。全然畑違ひの、しかも時節柄の農林に廻されて、あれだけにこなして見せたところ唯者ではない。



内田信也氏

× ×

この二人の力は、商人上りだから、或は官僚出身だから、では斷じてない。素質はもつてゐたであらう。その素質を政黨で、議會で叩きあげたからである。つまり、年期を入れてゐる。苦勞してゐる。親のスネを囓じつて大學を出て、すぐ役人になつて、課長になつて局長になつて——それだけでは、國民の生活をあづかる役目に缺けるものがあることを知らねばならぬ。

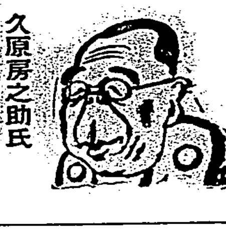
山本・久原・富田

政黨が更生へのもがきは深刻を極めてゐる。政民聯携もその一つの現はれと見てよい。今度の聯携の立役者となつた山本條太郎、久原房之助、富田幸次郎等は、もと安達謙藏を抱き込んでこの運動で内閣を一つ潰してゐる。いはば聯携の前科者だ。だが、あの時と此の時とは客觀的情勢が違つて來てゐる。いや、この連中にいはせると、あの時政黨が自分達の主張をきいてをれば、今日のやうな窮境に追ひ込まれずにすんだといひたいところであらう。

山本條太郎氏

× ×

山本條は三井物産の丁稚奉公から叩きあげた男、シーメンス事件の祟りは今でもついてまはつて未だに大臣にはならぬが、政友會きつてのプラン屋で、一夜にして國策、政策を十幾つ並べる位はお茶の子だ。しかもその中には傾聽に價するものが少くない。



久原房之助氏

久原は人も知る鑛山王。政界へ踏み込んで—田中内閣の遞相時代から今日までを回顧してみると、必ずしも金の光りばかりではない何といつても常に怪物的存在たるを失はぬ。

富田は民政黨には珍らしく野武士的なところがある。彼の危ない橋も時には進んで渡らうとする勇敢さは、ともすれば消極に沈む民政黨にとつては異彩ある炬火である。

× ×

さて、この三人を按手として聯携の橋を架けた兩政黨では、臨時議會の初日、院内食堂で三々九度の盃をあげ、兩黨首が恥かしさうに新聞社のカメラの前で手を結んだ。だが、その一方の鈴木は現内閣に聯係を殘らずと力み、一方の町田は自身が首相の椅子に謙讓する理由を以て任じてゐることを思へば、まさに一場のナンセンスであり悲劇であつた。

政黨よ、是を是とし、非を非としてはつきり戰へ。そのために、議會といふ絶好の戰場を君達は惠まれてゐるのだ。官吏にとつて最も恐るべきは「議會の問題になる」ことでなければならぬ。議會の神聖は同時に政黨の神聖だ。それでこそ明るい正しい政治は望まれるのだ。聯携三人男の健在を祝しつつ、殊更にこれだけ註文しておく。

富田幸次郎氏

勅題十詠 池邊の鶴

赤石定藏

由緒ある園と知られて丹頂の鶴も遊べり池の汀に
□
雲居にも聲聞ゆらむ御園生の池のほとりに巣立つひなづる
□
池の面の岩根の鶴を友として汀の多豆はいくよ馴れけむ
□
水清き池の汀に住馴れて萬代ほぐふたづの愛しさ
□
みどりなす池のほとりに立つ鶴の光儀すがしも仙人の如
□
鏡如池の汀におりたちてなにをあさるか鶴の一むら
□
このあたりうしろ安しと思ふらむ多豆はむれ來る御園生の池
□
久方の雲居たかくもまふ鶴のおりてはあそぶ池のみぎはに
□
千代八千代池の汀にすむ鶴は何と見るらむ天つ御空を
□
御園生の池の汀におりたちて萬代よばふ鶴をしぞ思ふ

林銑十郎

林銑十郎は陸相たる以前「獨斷專行」で名を賣つた。滿洲事變勃發の時である。柳條溝事件起るや關東軍は十數倍の敵を追つて北上し、奉天以南はガラ空きになつた。すておいたら尼港事件の二の舞を生じたかもしれぬ。この時朝鮮軍司令官であつた林は、第二十師團の混成旅團を獨斷で滿洲に出動させた。朝鮮軍は參謀總長の命なくして一歩も國境外に出ることを許されてゐない。林はこの命令を出した後白裝束に衣を改めて政府の處斷を待つたと傳へられてゐる。

× ×

この果斷は危機に臨んで絶好の處置であり、一般からも賞讚されたが、大臣としての彼はどうであらうか。大臣となれば政治を行はねばならぬ。政治は「果斷」のみでは行へない。よくいへば「果斷」であるが惡くいへば「越權」だからである。併しその心配は幸にして無用のやうである。彼は非常な沈默家であり、常に默々と考へてゐる。重厚である。そして實弟白上佑吉が瓦斯事件で有罪の判決を受けるや、彼は直ちに辭意を表明した。この責任觀念のあつて、決して輕率なる振舞ひや越權的行爲は執り得ない。軍の統制といふことが重大な問題となつてゐる今日、我々は彼の人格と信念と手腕とに信頼してゐていい。

林銑十郎氏

廣田と山本

外交官に二つの型がある。一つは海外にあつて洗練された社交のうちに相手國の當事者と親愛を結び、談笑のうちに折衝の使命を果す者、他の一つは、各國からの情報を綜合して世界の大勢に應じ外交の國策を樹立する者。—前者を外交技術家とすれば、後者は外交政治家である。

故に大公使としての適任者必ずしも外務大臣の適任者ではあり得ない。だが、外交技術者は求むるに易く、眞の外交政治家は曉天の星である。史上にこれを見ても明治以來眞の外交政治家と呼びたいのは陸奥宗光、小村壽太郎位のものであらう。小村の後繼者と目された山座圓次郎は早世した。

廣田弘毅氏

× ×

現外相廣田弘毅は小村壽太郎が山座と共に將來を期待してゐた者であるといふ。たしかに彼は社交第一主義の今までの外務畑には珍らしい存在であつた。加藤高明の娘との縁談があつたとき「俺は九州の石屋の伜だ。つり合はぬは不縁のもと」とか何とかいつて一蹴したといふ話がある。この氣骨非常時の外交難局に、彼こそは眞に頼むべき外交政治家といひ得やう。

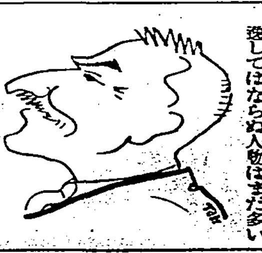
山本五十六氏

× ×

ロンドンの豫備交渉に、わが海軍を代表して活躍中の中將山本五十六はあのイガ栗頭が示すやうに稜々たる氣魄の士である。代表として鹿島立つ前、家庭訪問の新聞記者をつかまへて「物見遊山にゆくのぢやあるまいし、女房と並んで寫ろいた寫眞等以ての外ぢや」と叱りつけた強硬ぶり、だがその次の一句が傑作だつた「併し君が如何に執こく、如何に職務に忠實であつたかといふことは、社長に傳へておかう」ここに彼の外交的手腕の片鱗をのぞかせてゐる。内に廣田、外に山本、外務海軍ガッチリ結んで日本は颯爽と立つ。太平洋の波、何ぞ空しく騒ぐや。

新鋭部隊

逸してはならぬ人物はまだ多いのに、既にして紙白を失つた。仕方がない。一列橫隊に並んで貰つて「頭ア右」とゆかう。



中野正剛氏

國民同盟の中野正剛は依然としていはゆる議會向きの花形役者。凋落の無產陣營に杉山元治郎の廉潔また斷然光る。貴族階級にある意味での將來を希望させつつ非常時の日本にクローズ・アップされた近衛文麿、實業界から興業界を引つかきまわす小林一三の怪物ぶり、直木三十五の阿修羅を失つた大衆文壇にはさて取り立てて誰を求めやうか。吉川英治がネジ鉢卷で書齋を飛出すとか聞いたが……。囲碁新布石の鬼才木谷實と呉清源。將棋に之を求むれば金子金五郎と木村義雄。梨園から拔いて見たいのはやはり左團次と菊五郎であり、宗教復興の波に乘るラヂオの寵兒友松圓諦も問題にしたい。最後に婦人運動の畑から登場を促すとしたら結局山田わか、市川房枝あたりに指を折らねばならぬか。

見渡すところ何と新人に乏しき。僅かにあるは棋界の木谷、呉清源のみ。名實ともに青年日本を謳ふは果して何時の日であらうか。

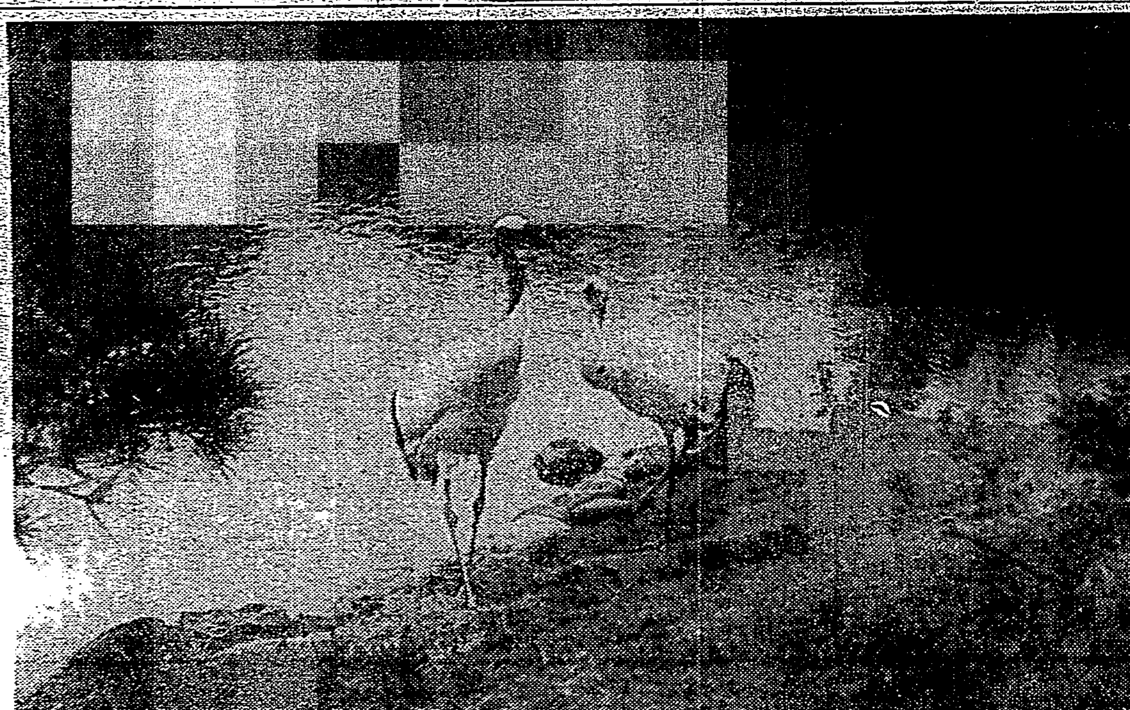
杉山元治郎氏

近衛文麿氏

小林一三氏

吉川英治氏

市川房枝氏



池邊鶴

白い鶴

中塚一碧樓

ぬれてゐる磯の庭のいろ明けの春
○
輪飾に袖をふるることなど朝ゆふべ
○
陽出で乘初めの舟人に水に
○
元旦くろい器にすこし離れ坐つたことも
○
硯の水も白い鶴來るも松の内

うらやまれて春を迎へる人（1）

淺草のレヴュー小屋で菊池寛に認めらる

人氣スター竹久千惠子

今から約七年以前、松竹蒲田を脱退した諸口十九、筑波雪子等が新に獨立プロを作つて映畫女優を募集した時、逸早くこれに應募して眞先きに採用されたのが當時まだ女學校の四年生で制服お下げの十七の少女であつたといふ竹久千惠子。そこで「美代吉殺し」の一本を撮影するにはしたが、散々の失敗で諸口プロは解散となり、僅かに殘つた同僚達と一緒に今度は旅廻りの劇團をつくつて東北から北海道へと巡業して歩いた。その間約一年半、千惠子はこの間に、苦しい經濟的な壓迫と辛苦の中に鍛へられて女優として成長して行つた。それでも彼女は東京に歸つてきては物の數ではなかつたのである。結局、諸口一座の地方巡業も失敗の連續で、歸京すると千惠子は淺草でその頃やうやく芽を出してゐたレヴュー團のカジノ・フォリーへ出るやうになり、次で玉木座、それからムーラン・ルージュへと轉々して、茲で文壇の大御所菊池寛氏に見出されて一躍明治座の檜舞臺を踏む人氣女優となつた。

……

そこは明治座の樂屋で、彼女は今やつと舞臺を下りて來たばかりの所である。

記者「女優にならうと決心した動機は一體何です。」

千惠子「動機つて、そんなむづかしいものはないわ。女學校の三、四年位になると、誰でも一度は映畫に熱中するものね。私もやつぱりさうだつたの。そんな年頃の時に、ある日私のお友達が「あんた女優にならない？今この間松竹を出た諸口が新らしく撮影所をつくるので女優を募集してゐるんですつて？」とある日言ふんですの。私はじめは本氣に聞いてはゐないで笑つてゐたのに、度々話を聞いてゐる内に、たまらなくそれに引つけられて行つたのよ。しかしまだ女學校は卒業前だし、義父に話したら、とても女優になど許してくれはしまいと思つて迷つたんですが、思ひ切つて應募して見たの。そしたら幸か不幸か採用するといふことになつたので、もう隱しては居られないからと思つて打明けたら、殊に義父はカンカンに怒つてしまひましたが、義父がほんとうに私に對して怒つたのはこの時だけでしたわ、しかし私の氣持は、もうその時はどうにも變へすことが出來なかつたので、その際家出して撮影所通ひをしましたが、間もなく兩親とも私を探し出して、では仕方がない許すといふことになつて、今度は反對に兩親からいろいろ激勵されるといふことになりましたの。」

記者「菊池寛氏が非常に貴方の藝に感心して激勵の手紙をくれたといふのはいつでしたか。」

千惠子「あれはムーラン・ルージュで「新都市東京」といふレヴューに出演してゐた時で、殊に私にだけ下さつたのではなく、外の男優達の演技を大變賞讃して、そのついでに私のことも一寸書いてあつた位ですが、それでも菊池さんのやうな大家からほめられたといふことはとても嬉しかつたですね。そんなことが縁になつて菊池先生にも度々お眼にかかるやうになり、松竹の芝居にも出るやうになりましたの。」

……

記者「レヴューでは、やはり踊つたり歌つたりしてゐたんですか。」

千惠子「それが私には出來ないので辛かつたんですの。でも、まるつきりやらない譯には行かないから稽古に骨折つて、たまには歌つたり、踊つたりもしましたが、大抵芝居の方だけで働くことが多かつたやうです。御存じでせうけれど、レヴュー・ガールの生活の内幕なんて、それは實にひどいもので、身體を使ふことは勞働者以上です。朝十時から晩は十時半まで、それから二時間ばかり稽古があつて、やつとその日を終るんですが、初日を出す前の日なんか大抵徹夜して舞臺稽古があるので、もうくたくたになつてしまひますの。しかし、皆好きで入つた道ですし、藝道修業のためだと思つて何の不平もあらう筈はないんですが、しかし今、自分がやつて來たレヴュー・ガール時代を振返つて見るとあれでいいのかしらと思ふことがありますわ。もう少し踊り子達に休養と、それからお手當と、勉強する時間とがなければねー」

記者「映畫と舞臺とはどう違ひますか、どつちが好きですか。」

千惠子「どつちも樂ぢやありませんわ。私は始め映畫女優を希望しましたが、大て諸口さんのプロへ入りましたが、ろくに撮影もしない内に、今度は實演で舞臺に立たされて田舍廻りをやるといふやうなことをして來ましたが、これが私には却つていい勉強になつたんです。何も知らないズブの素人が、僅か二年ばかりの間に女優に仕上げられたんですから、謂ゆる私も辛かつたんですけれども、諸口さんや菊池さんの指導も並大抵ではなかつたらうと感謝してゐますの。映畫には映畫のいいところがありますし、また舞臺では映畫に眞似の出來ないいいところもあつて、兩方とも私には甲乙はつけられませんわ。兩方とも、もつともつと勉強して行きたいと思ひますの。」

記者「どんな役が好きですか、特にやつて見たいと思ふ芝居はありませんか。」

千惠子「さうですね。私は慾ばりだから何でもやつて見たくて仕樣がありませんの。これといつて、まだ外の人がやつたことのないやうなものをやつて見たいと思つてをりますが、脚本の關係や何やかやで、思ふやうに行かないのが殘念です。」

……

記者「一年前のレヴュー・ガール時代とは、今の貴方は段違ひの出世をされたんですから、今年は定めしいい正月を迎へるでせう？」

千惠子「正月？少しばかりお給金がふえたからと言つて、そんな派手なお正月なんてありませんわ。正月なんて殆ど私達にはないのも同樣で、これはもう、この世界に入つてからずつと、世間の人達の考へてゐる正月らしい正月とは縁が切れてゐますの。反對に正月は忙しいんですから、そこは役者商賣のつらいものですね。殊に正月芝居をやつてゐる時の寂しさつたら思ひ出しても、よくあれで辛抱して來たものだ、と思ふことがありますの。そこへ行くと今の私にはほんとうにもつたいない氣がして、とに角落付いて、東京で新年が迎へられるといふことだけでもとても嬉しい氣がします。ただそれだけですの。」

記者「結婚についてはどうお考へですか。」

千惠子「やつぱりこれは重大問題ですね。女優だつて人間ですし、やつぱりさうした要求が起る時はあると思ひます。ただ俳優同士の結婚は、私はこれまでいくつも見て來てゐるけれど、どうかと思ひますが、私の場合を申上げれば、私は自分が舞臺に立つて、そこで働くことを生命として、そこで舞臺の性質をよく理解してくれる人があつたなら喜んで結婚したいと思ひます。仕事本位の結婚で結婚したために舞臺生活がおろそかになるんぢや困るから、ここの所をよく理解してくれる夫なら申分ないと思ひますね。と言ふと重大な結婚が第二義的なやうに聞えますが、そんな理解のある人なら私だつて好きですし、きつとうまく行くに違ひないと思ひますわ。」

……

彼女の言葉は次第に熱してくる。既にある男優と一年半ばかり結婚生活をして遂にうまく行かなかつたといふ。この道では相當苦い經驗を持つ彼女である。結婚についての質問になつて俄然彼女の眼が一層あでやかに綻びたのを見て記者は「彼女は結婚したがつてゐる」といふ結論を得て引下つた。

哭くな青春

（87）

三上於菟吉

吉邨二郎 畫

事務所で（その一四）

野山は荒つぽく手をたたいて、新らしい銚子を呼ぶと、それをまたもや、大きな茶碗にうつして、ぐいぐいと飲むのだつたが、いつか彼の人なつッこい目に、すさまじいきらめきが漲つて來た。

「僕のことなんか、世間では、只仕事好きな、上機嫌な、生活の暗流なぞには、見向きもせず、さも愉快げにその日を送つてゐる人間だと見てゐるのだ。そして、僕の内心を、いつも燒き焦してゐる、不可思議な煩惱には、すこしも氣がついてはゐない。君にしても、僕のことを、單に、人柄な、思ひやりの深い男と考へて近づいて來たのだらうね？言はば、小使のないとき、ぜびりにゆけば、十に八九は、いやだとは言はないだけの男として——ねえ、さうだらうけい子さん？、何とか言つてくれ給へ。」

けい子には、野山の胸に鬱勃としてゐる、言ふに言はれない、男性の悶きが、すぐには理解出來ないやうであつた。

彼女は、いたづらに、相手をなだめようとして、媚笑した。

「いいぢやないの？、他人なんか何と思つたつて——」

「他人？」

と、野山は、けはしい目をしてけい子を見て、

「君までが、僕を他人と思ふのかね？、僕は少くとも、今夜は、君を他人なんかとは考へてゐないよ。君も孤獨で、たよりすくない身を託してゐるのだ、それだからこそ、僕は、君を、あんな酒場にも連れ込んだ。連れ込んだ結果、かへつて君を、屈辱するやうな目に會はせてしまつた。あそこの女店員は、たしかに君の素性を見抜いたやうな顏つきをして、いやに冷淡にあしらひやがつた。横つらを叩きのめしてやりたかつた——おい、君たち、同性は、どうして、お互ひに輕蔑し合つてゐるんだい？」

「あたし、他人が、何と思つたつて、そんなことを、氣にかけてゐるひまなんかないわ。ただ、毎日あんまり不自由せずに暮らせれば、それで、いいのよ」

けい子は、鯉の水たきを、さもうまさうに、あとからあとから、小皿に取りわけて食べつづけるのだつた。

野山の、きほひ込んだ表情は、けい子のさうしたさもしさを眺めると、急に、情ないものに變じて來た。

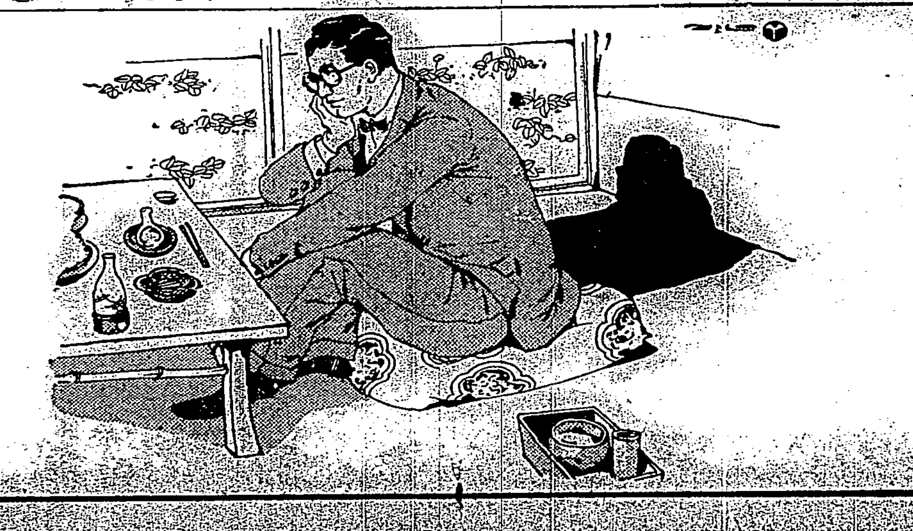
「君には、僕が、どんなに人間生活について惱んでゐるか——社會生活や、兩性生活について隱れてゐるか、ちつともわかりはしないのだ——君たちは、自分自身で、自分を侮辱し、卑下してゐるだけだ。僕が、あらゆる人達と、崇め合ひ、愛し合ひたいと願つてゐる氣持なんか、ちつともわかつてくれようとはしない。」

彼は、けい子を憎い目で、睨めするやうにして、

「君は、今夜、僕が何か言はうとさへ、のんだくれて、くだを卷いてゐるやうに心でわらつてゐる」

野山は、かうした惡言を浴せ立てることに依つて、相手を輕蔑しようと試みたのかも知れない。しかし、けい子に、ちつとも堪えなかつた。

「あたし、あなたを、何でわらひなんぞするでせう？あなたは、あたしに、外套を——こんな美しい外套を買つてくれた人ぢやあないの。あたし、生れてはじめて、あなたのやうに親切な方と會つたのよ。」



謹賀新年

本店 基隆市
支店 高雄市
出張所 臺北市 臺中市 臺南市

臺灣倉庫株式會社

臺北市本町一丁目四三番地

臺灣貯蓄銀行

代表番號電話三二二〇番

臺灣臺北市北門町八番地

大倉商事株式會社

臺北出張所

電話長一〇五三番

臺北市壽町五ノ五

臺北中央市場（株式）會社

電話長七八三番
三一七三番

臺北市明石町二丁目三番地

赤司鑛業株式會社

電話五二六番

營業

一、電氣ノ發生、供給、販賣事業及其ノ附帶業務
二、電氣事業、瓦斯事業又ハ之ニ關聯スル事業ノ投資

臺灣電力株式會社

社長 **松木幹一郎**

本社 臺北市書院町壹丁目壹番地
支社 東京
營業所 臺北、基隆、臺中、臺南、高雄、宜蘭
營業支所 彰化、屏東

臺灣支店 基隆、新竹、臺中、彰化、嘉義、臺南、高雄、屏東
松山、萬華、樹林、桃園、中壢、楊梅、竹南、苗栗、豐原
出張所 烏日、員林、集集、埔里、斗南、虎尾、北港、新營、新市
鳳山、九曲堂、旗山、潮州、宜蘭、二結、羅東、蘇澳、花蓮港
大稻埕、大湖、土牛、三塊厝、田町、里港
本店 東京丸ノ內

臺北市北門町七番地

國際通運（株式）會社臺北支店

臺北電話
長一三六番
長一六四番
四六五番
七〇七番
一、四〇一番
二、一三六番
二、二九一番
一、三四二番
二、七二四番
一、一六八番
一、一四九番
三、六六五番
一、九〇七番

營業係
會計係
發著係
船客係、輸入係
專賣局係
支店長、庶務係
臺北驛構內詰所
荷捌倉庫
臺北酒工場詰所
專賣局構內詰所
大稻埕驛構內詰所
萬華驛構內詰所

臺灣土地建物株式會社

臺北、基隆、高雄、嘉義

臺北市本町四丁目五番地

三菱商事（株式）會社臺北支店

電話
五九四番（肥料係 農産係 雜貨係用）
一、四一九番（金屬係 機械係用）
一、七七五番（機械係 金屬係用）
二、五一一番（農産係 肥料係用）
三、四二三番（支店長 會計係 庶務係 肥料係 用度係用）

火災保險はどこへ　島內に本社があつて便利で取扱の親切な

大成火災海上保險株式會社

臺北市表町二丁目十一番地

電話長五四〇番
壹五〇四番
貳壹九壹番

取締役社長 林熊光
常務取締役 益子逞輔

御不例の
天皇陛下
多少御咳を拜す

【東京二日發】新年諸御儀の一部を御取止めになり只管御靜養遊ばされてゐる天皇陛下の御經過は至極御良好で未だ御臥床は離れ給はずと雖も御熱もなく多少御咳を拜する位で殆ど御平常の通り御快復遊ばされたので宮内省では三日元始祭終了後二日後當直の塚原侍醫から御容態を聽取の上四日宮中で行はせられる御豫定の政始の儀を御親行遊ばされるか、否かに就き協議する筈であるが來る八日の陸軍始觀兵式は嚴寒の砌とて多分御取止め遊ばされることと承はる

元始祭
宮中三殿で行はせらる

【東京三日發】宮中行事の元始祭は御豫定通り三日午前十時より宮中三殿で行はれ天皇陛下には御靜養のため御直拜あらせられず御代拜を三條掌典長奉仕し又皇后陛下の御代拜は津輕女官が奉仕し秩父宮高松宮外各宮殿下の御拜禮、岡田首相以下各國務大臣、勅任待遇以上の文武官夫々拜禮賢所、皇靈殿、神殿の三殿に及び御祭典を御滯りなく終らせられた

宮内大臣謹話

【東京三日發】宮内大臣湯淺倉平氏謹話

天皇陛下には舊臘來御風氣にて御臥床を願ひ奉りましたがその後御經過は極めて御良好に渉らせられ既に二十九日正午以來御平温にて御政務は廢せられず誠に恐懼に堪へませぬ然し猶時に御咳を拜しますので玆兩三日は御臥床の儘御靜養を願ふやう奏請致しました、從つて政始の御儀は御取止の事となりました、又今日の御模樣より拜察致しますれば日ならずして御床拂ひ仰出さるることと存じ上げますが陸軍始觀兵式は戸外長時間に亙る御儀でありますから行幸御見合せを願ふこととしその旨奏請御裁可を得ました

政始の御儀
御不例で御取止め

【東京三日發】宮内省告示第一號　本年新年式中政始めの儀、陸軍始めの儀は御都合に依り左の通り仰出さる

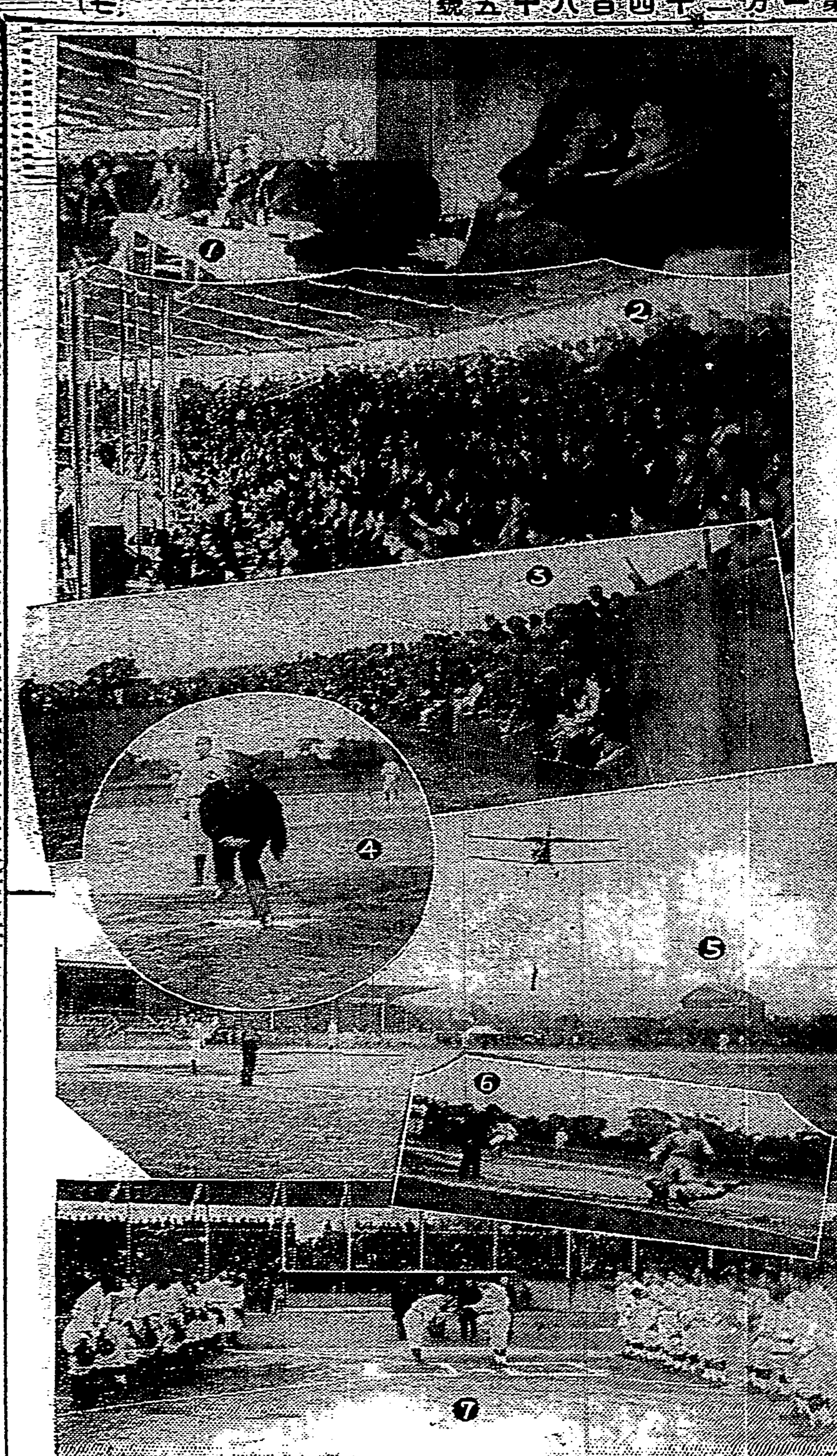
一月二日　宮内大臣　湯淺倉平

一月四日政始行はせられず

一月八日陸軍始行幸あらせられず

早稻田初陣の日
觀衆球場に溢る
長官の處女球で試合開始
大熱戰にただ恍惚

新春劈頭臺灣球界にわが社が贈る「野球豪壯篇」早大對鐵團野球第一回戰は三日晝天無風の圓山球場に於て擧行、此日數日來の雨もやんでグラウンド・コンディションは眞好でないが風もなく野球日和だ待望幾日かの此の大試合！午前十時の開場と共に早くもスタンドは野球愛好者群によつて占據され遠く外野スコア・ボールド附近迄人の山を築いた、來賓席には中川總督、平塚長官、小濱局長、荒木、三谷、辻本諸氏など野球の常連が早くも陣取つてここも滿員、正午滿場の拍手裡に早大軍は稻田主將を先頭に入場、つづいて鐵團も渡邊監督を先頭に入場、練習を開始したがサウンドトラツクから流れ出る「ワセダ」メロディーは球場を壓して心よい響きを傳へてゐる、先攻は早大、鐵團のナインはすでに守備位置に就いた、此のとき塚原飛行士操縱の義勇號飛行機は球場一壘側スタンド方向からエンヂンの快調音を轟かせつつ飛來グツと機首を下降せると見る間に高度二十米位の低空飛行を敢行、同乘席の扉が開かれると共に搭乘の大會委員は純白の處女球を投下、球はリボンの尾を曳いて鮮かに投手板附近に落下した、斯くて平塚總務長官は河村本社社長と共にマウンドに立ち空よりのヴアヂン・ボールを始球、空と地渾然となつて野球行進曲は奏せられてゐる、早大軍リード・オフ・マン高須はバツターボツクスに入り飯島球審のプレーボールは宣せられた、時に午後一時四十二分！壘審大澤、山口、井の邊の三氏



天晴れ！渡邊の快投
早大は攻守共不調の一戰
8A對4　鐵團早大を殪す

試合は鐵團渡邊投手の好調なピツチングで開始され一回早大小島長野の強打者が健棒振りを發揮して一回早くも一點を入るれば鐵は本多が二壘打して二點を入れ相ゆづらぬ打撃戰を思はせたが早大桑原投手不調にして五回永田にプレートをゆづらねばならなかつたに對し、鐵の渡邊は最近にない好いコンディションにあつたらしく早大の强打者連を或は眞向から攻め立て或はからめ手につけ入る等大陸の巧さを遺憾なく發揮して未だ嘗て[illegible]ざる遠征軍の打棒を七安打の散發に終らしめた、五回から代つた永田投手は健投したが七回川島の内角をねらひすぎて四球に步かせてから鐵のたくみなバント攻法をうけ三浦の左前安打に止めを差され鐵は强豪早稻田を見事に八A對四のスコアーで擊破した

試合經過

△第一回　早大—高須右飛佐武投手直球で二死後小島中堅越二壘打に出で長野一—三後外角寄りの直球を一二間に安打して小島生還長野二盜を試みたが捕手好送球遊壘手入つて刺す（一點）鐵—日笠投前惡投に生き永田の投前バントは又も投手の一壘高投となつて無死走者一二壘渡邊左翼大飛球三浦左飛で二死後本多左翼線寄りに猛烈なライナーを放てば球は左翼手の左を拔き柵に當つて轉々する二壘打となり日笠、永田生還大川遊飛（二點）

△第二回　早大—永澤盛んにファウルして後外角球を空振して退き服部一邪飛稻飼三直で無爲（鐵）—木村三飛、飯田三壘後方のテキサス・ヒットに出で川島の三壘寄り投前バントは內野安打となつて走者一二壘にあるとき日笠二一間を拔いて飯田長驅生還、川島三進永田打者のとき日笠投手牽制球で一二間に挾まれ一壘に追もどされたが二壘手一壘へのトスを惡投して川島生還、日笠二壘に據つたが永田右飛、渡邊捕前緩ゴロに終る（二點）

△第三回　早大—桑原遊越安打に出で横山の二備で封殺されたが高須右中間に大飛球を放てば右翼手大川の好背走も及ばずグラブを彈く安打となり佐武一備の間に走者二、三壘に進んだが小島中飛　鐵—三浦の二壘右ゴロは小島の快技に阻まれ本多遊備　大川二備に無爲

△第四回　早大—長野一邪飛、永澤中飛で二死後服部投手足下を拔く安打、稻飼四球桑原投備一失に兩壘となつたが横山左飛で得點なし（鐵）—木村四球に出で直ちに二盜、飯田三遊間を拔く安打で木村三進、川島遊備球は遊—二—一と送られたが二壘封殺成らず川島のみ一壘に死す共間に木村生還、日笠投前、永田右飛（一點）

鐵		打	得	安	犠	盜	振	四	過	殘	失
6	日笠	4	2	2	0	0	0	0	0	1	0
7	永田	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0
1	渡邊	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0
8	三浦	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0
3	本多	4	0	1	0	0	0	0	1	1	1
9	大川	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	木村	3	0	0	0	1	1	1	0	0	0
5	飯田	4	1	2	0	0	0	0	0	1	0
4	川島	3	2	1	0	0	0	1	0	0	0
	計	32	8	8	1	1	1	3	1	4	1

早大（先）		打	得	安	犠	盜	振	四	過	殘	失
6	高須	3	1	1	0	0	0	2	0	1	0
5	佐武	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0
4	小島	3	3	1	0	0	0	2	1	0	1
7	長野	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8	永澤	4	0	2	0	0	1	1	0	2	0
2	服部	5	0	1	0	0	0	0	0	1	0
3	稻飼	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0
1	桑原	2	0	1	0	0	0	0	2	1	2
1	永田	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0
9	横山	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9	林	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	計	33	4	7	0	0	2	9	3	11	3

△第五回　早大—高須四球佐武二壘近くに遊備すれば遊壘手そのまま二壘に入つて高須を封殺、球は一壘に送られたが、併殺ならず、小島一邪飛、長野一飛で得點なし（鐵）—（早大投手桑原退き永田投手となる）渡邊右飛、三浦遊飛、本多中飛

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
早大（先）	1	0	0	0	0	0	0	1	2	4
鐵團	2	2	0	1	0	0	3	0	A	8A

8A—4

早大對CB第一回戰
けふ午後一時半から圓山で

【ベンチ】一壘側早大、三壘側CB【審判員】球審飯島、壘審大澤、山木、井ノ邊

△第六回　早大—永澤四球に出たが服部遊備して遊—二—一のダブルプレーとなり稻飼中堅大飛球で入らず　鐵—（早大横山退き林右翼に入る）大川投備、木村三振、飯田投備

△第七回　早大—桑原に代る永田四球横山に代る林三振、高須左飛、佐武二備して永田二壘に封殺さる（鐵）—川島四球、日笠第一球を突如三壘線上にセーフテイー・バントを試みて見事成功し永田も三壘線上にバントを放てば絶好の內野安打となつて無死滿壘、渡邊四球で川島生還、三浦第一球を左前安打して日笠生還無死滿壘を續ける間に永田生還、大川の投備は本多遊備で三浦二壘に封殺され投—遊—一で本多、大川併殺、（三點）

△第八回　早大—小島四球長野投備の間に小島二進し永澤の左越二壘打で生還、服部右翼大飛球を放てば大川懸命に背走よく摑きはに之を捕ふる美技を演じその間永澤三進稻飼四球永田四球で二死滿壘となつたが林投備に終る（鐵）—木村投備飯田中飛、川島捕邪飛

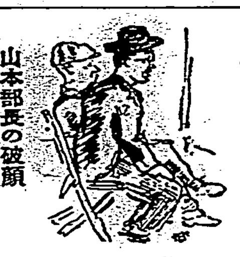
△第九回　早大—高須四球佐武一飛で一死、小島よく選んで四球に出で長野の中堅大飛球で二死、走者二、三壘に進み永澤右翼線上にテキサス・ヒットの二壘打を放つて高須、小島生還二點をかへしたが服部左飛に終る（試合終了午後三時四十七分）

試合時間　二時間五分

二壘打　本多一、永澤二、小島一

併殺　（早）永田—高須—稻飼

　　　（鐵）日笠—川島—本多



山本部長の破顏

山本部長、今日は全くの上機嫌ニコ〳〵ニコ〳〵まゆげを下げて目じりを下げてニコ〳〵〳〵凡てを超越したこのニコ〳〵振り

戰の跡

◇鐵團渡邊投手のスタートは比較的好調で外角を低目に衝く直球はコントロール好く高須、佐武を凡打に打取つたが小島に對して〇—一後眞中を通したから中越二壘打を許し長野の遊三間安打で一點を先取された

◇一回裏鐵團日笠の三壘側軟打を桑原投手處理惡るく一壘惡投で生かし次打者永田の三壘側バントを又も一壘に惡投して生かしたのはグラウンド・コンディションの軟弱を考慮せない劣いプレーと云へる渡邊バントを仕損じて左飛に退き三浦の强氣も凡打でチャンスを逃がしたかと思はれたが二—三後本多は眞中の直球を見逃さず好打、左翼線近くに二壘打し二走者を生還せしめたのは殊勳の一打であつた

◇二回裏鐵團一死後飯田の三壘背後當り損ねの安打後川島の二壘側バントは內野安打となつたがこれもグラウンド・コンディションの柔軟に對する野手の前進不足から招いたもので鐵團の採つた適時バント戰法は正攻法であつて珍らしいものでなかつたが投手の守備姿勢の不整で意外の效果を收め日笠の一二間安打で堂々優勢を持して試合を進め小島の走者牽制一壘惡投が作つて四對一とリード

◇三回表桑原の三越テキサス、高須の右中間大飛球の安打と重つて二死ではあつたが小島を打者に迎へた渡邊投手がカーヴで攻めて中飛に討取つたのは上出來

◇四回二死二走者桑原の投備を渡邊ワンバウンドで一壘に送ると本多これをハンブルして滿壘となつて左打者横山を迎へたが渡邊外角を攻めて左飛に討取つて破綻を見せなかつた

◇此回裏桑原のコーナーボール制球に乏しく木村に四球を與へ二盜を許し飯田の三遊間安打後川島の遊備は二壘手へ送られたが併殺成らず木村の生還をも許すこととなつたのは早大內野陣の不調

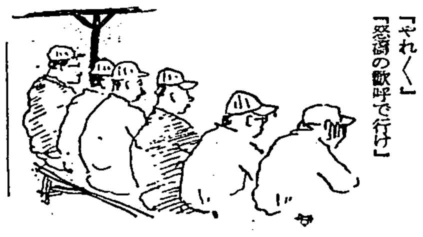
◇五回鐵團渡邊投手佐武、高須、小島、永野と早大中核打線を外角の直球とスピードを落したカーヴに好コントロールを見せ凡打せしめて行つたのは近來にない出來で强氣から圓熟の投球を見せて來た

◇此回裏早大は桑原を退けて永田をマウンドに送つた、桑原は直球にもカーヴにも球威なく制球も亂れ勝ちで不出來であつたが鐵團の打線が强氣一本槍から待球主義に出て正攻法を採つた所に早大守備力を破つたものだと觀へる

◇桑原に代つた新人永田投手はブレーキの鋭いアウ・ドロを交へて五回六回と鐵團中核打線から當り屋の飯田迄巧に處理して鐵の渡邊と對陣投手戰を展開、六回以後に饒舌さを見せる、渡邊投手の肩が亂れを見せなければ鐵は此の儘試合を押切つてしまふのではないかと思はせる

◇七回裏川島よく四球を選んで出壘後日笠三壘側にセーフチイ・バントし續いて老巧永田も三壘線にバントしオール・セーフ、打者に渡邊を迎へて永田懸命に內角を攻めたが四球で日笠を押出し永田投手は若いだけ精神的の負擔となつて三浦のため左前に快打され早大は更に三點の負重となつて八對一と引離されたのはバントに對する處理の拙さを見せたもので鐵團は好打の日笠、老練の永田などの自由な驅使で此の早大のウヰーク・ポイントを衝いた所は賞すべきである

◇八回早大永澤の左越二壘打で四球に出た小島還つて次打者服部の一打は右翼柵に達する大飛球であつたが右翼大川軟弱のコンディションにも拘らず背走これを捕つて破綻を致つたのは殊勳のプレーであつた、二死永澤を三壘に置き渡邊は稻飼、永田と四球で送つたが林を投備に仕止めて勝利投手の途へ強く足を踏入れた



四回の表の早大ベンチ

「思ひきつて行け〳〵」

「ひつぱれ〳〵」

「ガン張れよ」

「走らせろ」

「あせんな〳〵」

「やれ〳〵」

「怒濤の歡呼で行け」

◇九回第一打者高須を迎へて渡邊カーブで攻めたが定らずして四球、二番佐武と早大の好打順となつたが佐武アウト・カーヴを凡飛、小島四球を選んで一死走者一二壘となつたが長野低目の直球を中飛、永澤右翼線に好打し二走者を還し、追擊急を告げたが時すでに遲かつた

◇八A對四……鐵團の快捷となつたが勝利への途は老雄渡邊の好投と飽迄待球主義に出で强氣一本槍を愼んで適時有效なバント戰法を用ゐて正攻の試合を進めた所に開けたもので一方早大桑原投手の不調に出發を叩かれ頼みとする强力打線も鐵團渡邊投手の好投に阻まれて安打は散發となり守備陣も些かの破綻を見せて攻守共に不調の一戰であつた

必ず雪辱
早大主將談

敗戰の苦杯を嘗めた早大主將稻田君に試合觀をノツクすれば「完全に敗けましたよ。完全に」と前置し

「リーグ戰後長らく實戰に遠ざかつてゐたのと練習不足とでプレイヤーの連絡がチグハグになつたために日頃の調子を失ひ、反つて焦り氣味になつて了つたんです　鐵團は感じの好いチームですネ　渡邊さんの變化に富む球、右翼大川、遊擊日笠の守備など立派なものです　それにしても、もつと打てる筈なんですが、焦つてタイミングを失つた結果でせう　今度ですか、今度は必ず勝ちますよ」

と力強く結んだ

幸運です
鐵團主將談

快勝を博した鐵團主將才木君は流石に喜びを禁じ得ない面持で語つた

「終始リードを續け得たのが勝因です、リードしたためにバントを數多く使用し、これがグラウンドの濕りに幸ひされ絶好の武器となりました、渡邊投手の出來は普通ですが、今日は特に緩球がよかつたやうです、焦燥の氣にある早大に對し素晴しい結果を生じました、早大チームは僅か一回戰つたのみですが、打擊といひ、守備と申し實に立派なものです、色々な條件が鐵團に惠まれ勝利を得ましたが次回戰はどうなりますか、とにかく最後まで頑張る考へです」

沈默のファン

試合終了のサイレンが鳴るやスタンドのファン怒濤歡呼の如く歸仕度、誰かが口づさむ應援歌もやれやれとした樣な氣分だ、後に殘つたそミガラの座蒲團が白くならんで默々と球場を見てゐる樣

けふは曇天
觀測所の打診

臺北地方の天候は三日になつて漸く回復とまではゆかぬが終日曇天で都のファン待望の早大對鐵團野球戰が行はれたが四日も同じ樣な天候が續くだらうと觀測所は報じてゐる

スタンド雜觀

元旦、二日とドシヤ降りの雨を受けて圓山グラウンドは醉ぱらひみたいにグロツキーになつて石油燃やしてもガソリンをたいて應急手當を施しても正體に戻らない有樣三日晝過ぎ雨はあがつた、鐵團と早稻田との一回戰愈々決行となつて圓山スタンドは四千と云ふ觀衆を集めたのも無理はない

「いや全く閉口だつたよ、この野球がなかつたばつかりに今年の正月は僕のうちにも千客萬來で酒はのまれる、料理はなくなるし、イヤ僕家が全くはづれ通しさ」

「全くそ、正月の野球に行つてると云へば大ていは見逃してくれるからな」

スタンドのファンは今日の野球でやつと生きかへつたと云ふ面持ち

〇

三壘側スタンドは早大應援團によつて全部占領され撿水リーダー君白のジヤケツ一枚となつて應援旗をゆすり、拍をゆさぶつての應援、統制なか〳〵とれてゐる、これに引換へ一壘側鐵團應援席はエールも小旗もゆるがずクロガネに相應しい沈默の威力が重々しく迫へてゐる

外野へのびた滑航艇の樣なシートにも鈴生り滿員、刻々その瞬間がのびて行く、スタンドを飾る花はと見れば今年は案外淋しい、所々に五六人宛一團となつてオヴアーやシヨールに埋まつてゐるが流石女性だ、早稻田の選手の一擧手一投足に視線を送はしてゐる

〇

愈々定刻數分前となつて國防義會の義勇飛行機が黃色いスピード感をひいてマウンドの上二十メートルを掠め五色のテープに包まれた處女球を見事に投下する、ワツーと云ふ怒濤の歡呼だ、長官始球式、ひんまがりの球を早稻田服部捕手が見事にキヤツチ、又復滿場の怒濤だ、レフト側に陣取つたコロンビヤ、サウンド・トラツクから「[illegible]十箇つないだのを落した方は」と云ふ正月氣分の出た遺失拾得物のアナウンス、飛行機とかサウンド・トラツク等三十六年式の新しい餘興が飛出して來るのでスタンドは滿悅と云つた調子だ

〇

かくて試合の進行するにつけ外野席に飛込んだファウルを左手でキヤツチする樣な熱狂野球ファンが出て來たり黑オーヴアーの中年紳士が高級めいた應援をエンタツ・アチヤコそこのけにやつてのけて滿場の拍手を買つたり黃色い聲援、ETCとにかく雨正月で腐り切つてゐた鬱憤が相當ヒツトされてゐた

寫眞説明

（1）メーンスタンドの來賓（向つて左から本社河村社長、中川總督、平塚長官、堀田交通局總長）（2）すし詰めのスタンド（3）スタンドに溢れた觀衆（4）始球を投げる平塚長官（5）義勇號グラウンドに處女球を投下（6）第二回裏鐵團飯田、日笠の一二壘間安打に二壘より本壘を衝いて危く生還（7）早大、鐵團兩軍選手の[illegible]

歐亞を電話で
英國とモシ　モシ
開通式は一月廿五日
先づ日英兩國首相が交驩

【東京三日發聯合】僅か一月前にアメリカとの無線電話が開通されたばかりなのに今度はイギリス、フランス、ドイツの歐羅巴諸國とも市內電話と變りもなく「モシモシ」「ハローハロー」が聞ける事になり愈々その開通式が來る二十五日に各國の首相級の交驩交驩に依り華々しく擧行される事になつた、このうち英國はラグビー局、獨逸は伯林無電局との直通、其他は此兩局の中繼に依るのであるが兎に角、ソヴエトロシアを除く歐羅巴諸國と自由に話が出來る事となつた、通話料金は未だ決まつて居ないが大體東京アメリカ東京との通話料よりも幾分安くなる模樣である、二十五日の開通式第一聲を交すのは吾國からは岡田首相を先頭に廣田外相、床次遞相英國はマクドナルド首相、キングスレー・ウツド遞政局長官、獨逸はナチスのゲツベルス宣傳相が登場する事に決まつてゐるので[illegible]の國々の首相と我が岡田首相、廣田外相がリレー式交話をする事に略打合せが出來た殊に岡田首相とマク英首相との第一の交驩は一九三六年新春に相應しい歷史的行事として期待されて居る

中等學校野球
嘉農中二中を破る

【嘉義電話】卅五年度中等學校野球試合の消息を豫報する興味を繫いで北商、中二中、嘉農、南一中の新陣容は三日午前十時十五分嘉義公園球場にて入場式を行つたが前年の優勝校北一中が優勝旗を返還、梅田野球部長の挨拶、川添會長の緩かな始球があつて同午前十一時二十分曇天無風、氣温六十度の絶好のコンデシヨンの裡に嘉農對中二中戰を以て開始したが、嘉農は昨夏臺中で辛勝し中二中は嘉義で大捷した一勝一敗の兩校前年の歷史は右に嚼ぢりついても此の試合を物にしたい重要なポイント況んや北部の强豪北商の手にあるペナントはこの一戰の彼方に望まる老練の嘉農、頑張りの中二中强豪北商のトリオに新進南一中を加えての興味に今日はスタンドは超滿員の人の山で唸つてゐる、試合は吉村（球）村上、右田、大場（壘）の四氏審判の下に嘉農先攻で十一時二十分開始四對零の戰績で嘉農大捷した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
嘉農（先）	1	1	0	0	0	2	0	0	0	4
中二中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

吉松大將逝去

【東京三日發】退役海軍大將吉松茂太郎氏は豫て病氣靜養中の所二日午後二時麻布區笄町一五七の自邸にて逝去した、享年七十七、葬儀は來る八日午後一時青山齋場にて海軍葬にて執行される、故大將は高知縣士明治十六年海軍少尉、日淸、日露兩役に參加、大正五年十二月海軍大將となる、その間浪速、高砂艦長、第一艦隊司令長官、海軍兵學校長、教育本部長、海軍大學校長、軍事參議官を經て大正九年八月退役仰付けられたが海軍部內にて戰術家として有名であつた

けふも初荷
朝日足袋と花王石鹸

市內本町の盛進商行株式會社にては四日午前十時本社前を振り出しに樂隊一隊付きに朝日地下足袋朝日ゴム靴二十萬足並にブリツヂストンタイヤ千本をトラツク五臺に滿載し初荷として市內各得意先に配達する由、又花王石鹸臺灣總代理店の市內表町大崎公司では恒例に依り四日午前八時よりトラツク數臺で賑々しく花王石鹸、金剛香水、御園化粧品、ベジリン香水等の初荷を出し午後は引續き全市に大々的樂隊入りで宣傳をなす由

覺悟の自殺

【臺中電話】屠蘇氣分で朗かに浮かれ廻つてゐる二日午後二時三十分頃臺中市旱溪二八四地先縱貫線路上に頭蓋骨を粉碎した軍服姿の轢死體があると臺中驛員が發見屆出により臺中分遣隊員臺中署員立會取調べた所右は臺中分屯大隊第十二中隊山形數男（[illegible]）と判明したので軍當局の檢視の後同隊に引取つたが營內靴をはいてをり帶劍を著しをらぬ點より同夜點呼後營內を脫出し午後九時五十分頃貨物列車が臺中驛に進行して來た際投身自殺を圖つたものらしく死因に付ては秘密に附されてゐる

宜蘭の福引

【宜蘭電話】蘭陽地方に於ける本社愛讀者開運福引は二日午前十時から宜蘭、羅東、蘇澳の各取次店に於て一齊に行はれた宜蘭街の如きは開始後僅か十五分にして一等が出で續いて二、三等と十一時には既に一、二、三、四等が組合せて數本を出した程の好成績で結局午後三時の締切迄に四等一本を殘して一、二、三等全部出盡て年頭の好運を喜び合つた宜蘭街に於る當籤者中主なるもの左の如し

一等　乾門許廣宗

二等　乾門旺孫茶、上田顯要

三等　南門張長檣、東門松島屋、坤門明智信七、林旺

四等　西門富士商會、乾門潘阿成、坤門古賀光子、坤門陳金土氏、東門二宮一

新竹の福引

【新竹電話】恒例に依る本社新竹の新春福引は二日午前十時より沼野取次店にて催され八百餘名の抽籤者押しかけ午後二時終了した當選者左の如し

特等東門田村商店　一等旭町米長氏　二等客雅莒野氏　三等東門小川氏

花蓮港の福引

【花蓮港電話】二日本社支局恒例の福引當籤者は左の通り

特等　戶塚勝平　一等　三宅邦彥　二等　糸市會社、松本武　三等　野村、要、三好、田村清五郎、立花某

一等は陸軍司令部

【馬公二日發電】馬公に於ける讀者福引は二日行はれたが△一等　陸軍司令部△二等　[illegible]銀平田、三濱商店等であつた

〈嘉なかたち〉
求職　一件一回　壹圓貳拾錢
其他　一回　壹圓七拾錢
匿名　倍額

招聘
勸業債券賣買業務の支店長格營業者を求む
下關名池山下　[illegible]新榮證券商會

大岩井辰造儀永々病氣の處本日午前三時死去致候間此段謹告仕候
追而告別式は一月四日午後[illegible]時自宅に於て[illegible]
昭和十一年一月三日
臺北市田町[illegible]番地
土井ヨシノ
土井信子
杉本廣市
岩崎福人
仁木種次郎
大森仲治
廣山文也
渡邊[illegible]

後篇
一流星……？
劍豪阪妻が獅子奮迅の大殺陣！
愈々急！波瀾萬疊興趣巨篇……
雲霧閻魔帳
敵艦見ゆ
芳乃館

親鸞聖人 (87)

吉川英治作　山村耕花畫

登岳篇

大衆（八）

（そつと、聖主のお耳に入れておかうか。――いやいや、聖主には何か、お考へも覺悟もあつて、營されたことに違ひはない）

性善坊は、思ひ惱んだ。

朝の膳の用意を、夜のうちにしておいて、ぼんやりと、院の外へあるきだした。

水つぽい春の月が、峰よりも低いところに、いくらか、黄いろ味をもつて懸かかつてゐた。

「山も山だが、下の巷は、なほ更だらう」

喘ぐ人間社會の息が、月を黄いろくしてゐるやうに思へた。

飄然と、その人間の聚落を離れて、高嶺の法城は、理想の生活に惠まれてゐるかと思つたのは、いとも愚かな考へであつた。ここも下も、變りはないのである。人間のゐる所、人間の世界ではない地上はない。

西塔へ行つた歸りに、自分を脅迫した荒法師のことばや、態度から察しると、どうも、問題は、穩かに納まりさうもない。一つのものが間違へば三井寺へも、攻めてゆくし、神輿をふつて、御所へも強訴に出かけるといふやうな獰猛な學僧のあつまりである。

〈聖主へ對しても、何んな事をするかわからぬし、師の少納言を取つて懲すぐらいなことは、やりかねない〉

性善坊は、寢られない氣がする。――やはり、一言、聖主のお耳にいれておいた方が――と又迷ふのであつた。

すると、誰かものの蔭から。

「少々、伺ひますが」

「あつ？――誰だ」

「廚の者でございます」

「參詣者か」

「いいえ、すこし、お訪ねしたいお方がございまして」

よく分らないが、見そぼらしい孤僧のやうな容をしてゐる。背に笈を負ひ、手に、尺八とよぶ竹をたづさへてゐて、足は、藁で縛つてゐる。

「誰方を、お訪ねですか」

「去年ころ、粟田口から上られた範宴少納言さまは、どこの房に、おゐでせうか」

「ほ、範宴樣を、おたづねか」

「さうです」

性善坊は、さう云はれて、何處かで聞き覺えのある聲だとは思つたが、思ひ當る者もなかつた。

「範宴樣は、根本中堂の宿房におゐでになるが、して、お許は」

「東山の彌陀堂にゐる孤雲といふ孤僧でございます」

「なんの御用で」

「すこし、お訊ひやら……又お顔も見たしと存じまして」

「以前に、お會ひしたことが、あるのですか――」

「はい、ふしぎな御縁で、六條の館に、捕はれてゐたこともございますし、又、その後も、一、二度」

「やつ」

性善坊は、びつくりして、

「成田兵衞の家人、庄司七郎どのぢやないか」

「あつ……」

却つて、その七郎の方が、びつくりしたやうに、光る眼を、大きくみはつて、しばらくじつと性善坊の顏を見つめてゐたが、

「おお、貴殿は、そのむかし、日野のお館にゐた侍從介どのか」

「さうぢや」

「これは……めづらしい」

今は、孤雲と云ふ庄司七郎の顏と、性善坊とは、曾つての宿ひも、恨みもわすれて、手を握りあつて、互ひの變つた姿に、しばらくはことばもない……。

日英美主張全背馳
難以發見妥協點
年初外交複雜多難

東京三日電。軍縮豫備會商。於十二月十九日休會。決定之日英美三國共同聲明書。關再開期日決定之事。今後將於適當機會。欲會商招聘國英國政府。爲適當措置。目下情勢。豫備會商之再開。料必困難。卽豫備會商休會後。由外交機關。繼續折衝。研究豫備會商再開方式。發見妥協點後。英國政府。將向日美提議再開。美國政府主張。今回會商日英美三國代表。十分披瀝自國見解。豫備會商。無續開必要。次將開之會。乃本會議。反對豫備會商續開。英國政府。爲會商招聘國。最期待會商成功。主張照察文試案。以各國建艦計畫自主的一方的宣言方式爲基礎。進行討議。今後必照此提示具體的數字。然日本以軍縮均等權容認爲先決要件。其主張若不被容認。則絕對不討議具體的數字。堅持此立場。美國政府。關華府條約廢止通告。華盛頓會議。簽印諸條約全部相關係。而軍縮條約若無效。則他諸條約。卽中國所關九國條約及太平洋四國條約。當然不可不再檢討。示此見解。今後豫備會商若續開。宜作九國條約其他政治問題討議廣範會商此乃日本政府絕對不得容認處。由以上情勢見之。日英美三國主張。全爲背馳。妥協點發見之希望漸薄。一月下旬至二月上旬豫備會商之續否。本年內本會議之開否等情勢欲決定。本年初外交。更困難複雜。最要重視也。

國威宣揚
擧祈念式
五日于公園

在鄕軍人會臺北市聯合分會。定五日午前七時。于臺北新公園。爲國威宣揚國難打開。擧行祈念式。開式順序。開會詞。國旗揭揚。奉讀勅語。式詞。宣言決議。激勵詞。高唱大元帥陛下萬歲。及帝國在鄕軍人萬歲。合唱國歌國旗降納。閉式。

大甲愛育幼園
祝降誕學藝會

大甲郡大甲街大甲愛育幼稚園。並大甲教會日曜學校。爲祝賀耶蘇降誕。於去年十二月三十日午後一時。在禮拜堂。開催聯合學藝會。參觀男女來賓。塞滿座席。有獨唱。戲劇舞踊遊戲等。大博觀衆拍采。五時散會。

臺灣茶貿易之轉向
昨年爲一大轉換期（上）

茶商公會長陳天來

（一）昨年新趨向　余于昨年新春。以爲處于一大轉換期。論爪哇市場之喪失雖殘念。然而臺灣茶業之將來。不必悲觀。而世豫想竟然獲中。昨年中臺灣茶業。全面的活況。茶價亦擬爲一昨年春茶之倍額。輸出視前年概見活氣。茲以數字觀之。

▲烏龍茶輸出箱數。

昭和八年	二〇九、三九五箱
同　九年	一六六、四二四箱

▲包種茶輸移出箱數。

昭和八年	一五一、八九八箱
同　九年	一九五、八一一箱

▲紅茶輸移出箱數。

昭和八年	三四、二九五箱
同　九年	一三八、三五〇箱

其中九年分。係至十二月十五日輸出申告數字。與全年輸出實數。應無大差。第一就烏龍茶觀之。九年比前年。輸出減退約四萬箱。而此現象。羅斯福大統領。雖下景氣振興策。而美國景氣恢復。遲々不進展。一面因紅茶之進出頗有暗示蠶食烏龍茶之販路。第二包種茶之輸移出一時雖形悲觀。而于貿易實勢。非如世間之悲觀說。比前年增加三萬四五千箱。第以地方別觀之。其間大有消長。非全體一律。如爪哇稍減退。西貢稍增加而外。南洋各地輸出。無甚變化。唯對滿洲輸出。比前年之約二萬箱。一躍增至四萬箱。爪哇輸出之減退者。爲該地關稅障壁所妨碍。就此不合理關稅障壁之撤廢。經對當局。陳情採種々對策。而不能如意。甚屬遺憾。又對西貢輸出增加者。因對臺灣茶。設定特惠關稅。最近豫料該地輸入關稅擡高。唯故輸入應有相當數量。對滿洲國輸出之增加。乃同國秩序之恢復。大衆購買力增進。及日滿經濟關係緊密使然。殊爲可喜。第三紅茶之輸移出之狀況此亦見異常進展。比前年之三萬箱。增至十三萬箱蓋對茶嗜好。以次轉移于紅茶。一面爲滙水跌下。外國紅茶。輸入妨碍。而促進臺灣紅茶之輸出也。（二）今後之趨向　以上乃余對昨年之臺灣茶貿易趨向而述所見解。然而以後之貿易趨向如何。以昨年爲一大轉換期。此後亦料益形轉向。首就烏龍茶觀之若美國景氣。雖望迅速恢復。則本年亦不能大期待一昨年日美滙水。一時落至二十弗左右。故于烏龍茶輸出有利。然最近日美滙水。騰至三十弗左右。若滙水不降。則烏龍茶之輸出。當難望如前年之增進也。（未完）

各地擧拜賀式

▲新竹　同市元旦。不見竹風。唯有細雨霏々。午前七時半。市民及學校生徒等二千五百名。會集于小學校國旗揭揚臺下。合唱國歌。揭揚國旗。午前一時半。各官衙擧行拜賀式。同時于公會堂。開市民名刺交換會。與會者七百五十名。國歌合唱後。青木市尹祝詞。次開宴。內海知事發聲。三唱天皇陛下萬歲。十時四十分散會

▲東石　朴子街朴子。官民三百餘名。於去元旦午前十時。在朴子公會堂。擧行名刺交換會。街長朗讀新年辭。然後開宴。一堂春風滿座。和氣藹々。酒酣田中郡守發聲。三唱萬歲。衆唱之。盡歡而散

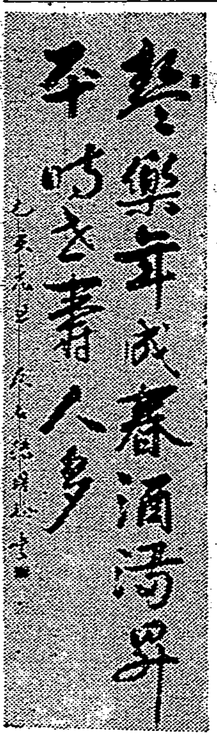
▲高雄　是日晴天。氣溫八十度。午前六時半。高雄神社前。市民會集者千餘名。參拜後。合唱國歌三唱萬歲而散。同八時半各官衙學校。擧拜賀式。同十時。于第一小學校雨天體操場。擧行官民合同新年祝賀會。松尾市尹式詞後開宴。西澤知事發聲高唱天皇陛下萬歲。十一時散會。

▲屛東　朝來晴朗。市民相踵參拜阿緱神社。午前九時。市及各官衙學校。擧拜賀式。同十時于屛東會館。開官民合同交禮會

▲馬公　陸海軍並澎湖廳其他。各于午前九時。擧拜賀式。又馬公街役場主開陸海軍。並地方官民合同名刺交換會。十一時。開于馬公小學校講堂。參加者四百五十餘名。國歌合唱後。三浦街長開會詞。次開宴。大野要港部司令官發聲。三唱聖上陛下萬歲。正午散會。

臺灣神社
參拜者數
元日達萬餘名

非常時局。敬神觀念。愈益發達。元旦日臺灣神社之參拜者。多有自除夜。冒雨徒步。拂曉卽乘合車滿載。其他自動車人力車。及徒步之男女。亦復往來如織。官界則平塚長官。堀田交通局總長及各局長民間則三好老小松老諸氏人數不下萬餘名。二三日兩日之參拜者仍盛。不亞於元日也。



新竹市、張國珍氏書

元始祭宮中御祭禮
兩陛下遣使御代拜

東京二日電。宮中新年元始祭。照御豫定。三日午前十時。在宮中三殿擧行。天皇陛下爲御靜養。不御直拜。三條掌典長奉仕御代拜。又皇后陛下御代拜。由津輕女宮奉仕。秩父宮高松宮外各宮殿下御拜禮。岡田首相以下各國務大臣勅任待遇以上文武官拜禮。賢所。皇靈殿。神殿三殿御祭典終了。

新年諸御儀
一部中止

東京二日電。新年諸御儀一部御中止。天皇陛下御靜養。御經過至極御良好未離假床。亦無御熱。多少御咳。囘復殆如平常。宮內省三日元始祭修了後二日夜由當直塚原侍醫。聽取御容態。四日宮中政始儀。協議決行與否。來八日陸軍始觀兵式。因値酷寒時。似欲中止也。

吉松海軍大將
擧海軍葬

三日東京電。退役海軍大將吉松茂太郎氏。養痾病氣療養中。二日午後二時在麻布區笄町一五七自邸逝去。享年七十七。葬儀定來八日午後一時。在青山齋場。擧海軍葬。故大將爲高知藩士。明治十六年任海軍少尉。參加日淸日俄兩役。大正五年十二月爲海軍大將。其間歷任浪速。高砂艦長。第一艦隊司令長官。海軍兵學校長敎育本部長。海軍大學校校長。軍事參議官。大正九年八月退役。稱海軍部內有名戰術家。

在滿新機構活躍
滿鐵首腦部將更迭

東京三日電。在滿新機構活躍開始。在滿人事。相當廣範圍異動。然其最大人事。將來最期待其經濟的活動。滿鐵首腦部之更迭。爲滿鐵改組懸案。實施之前提。各界重視。又此異動。滿鐵正副總裁。似將更迭。近將就此等。對南全權。由政府正式交涉惹注目。

全國中學蹴球
臺北大勝

大阪三日電。全國中學蹴球戰臺北一中對德島中學試合。三日午前十一時。在甲子園南運動場擧行。德島先蹴。前半一八對〇。後半一〇對〇。計二八對〇。臺北軍大勝。吐遠征之氣。（尙主審乃阿部氏）

孫科氏來平
議對日策

北平二日電。立法院長孫科氏。一日朝來平。午後三時。在政務整理委員會會見黃郛氏。北華政情日華關係。詳細質問後。懇談千九百三十五年度對日外交方針。孫科來平。頗惹注目。

本社全島各支局
新春開運福引

△基隆　恒例對讀者開運福引。于二日午前擧行。自定刻前。本社支局前。愛讀者堵列以待。異常盛況。然至最後。特等尙未當籤。而一等爲義重町蓮光寺。二等明治町淩水龍。三等元町堀川町藥新本。壽町大西市太郎。速江山。眞砂町紫澤俊雄諸氏。

△臺中　同日午前十時開籤。特等一二等幸運者。特等千城町石榮興氏。一等木下町小池潤氏。二等榮町淸水雜貨店。同寶町木田洋品店。

△臺南　午前十時開籤。至午後三時告完。特等至六等無空籤。當籤幸運者特等淸水町日之丸園。一等西門町淸水五郎。二等壽町湯川猛。同新町湯淺一作。三等開山町我有季子。同花園町葉作擡。旭町高工官舍重富幾多。本町茂源藥店。同城百全諸氏

△高雄　同日午前十時。開于市內取次店芝忠一氏家。自定刻前。讀者簇至頗呈盛況。于午後[illegible]由市內入船町一[illegible]方課地理係係長[illegible]氏夫人。當籤特[illegible]置時計。其他至幸[illegible]當籤者如次。三等[illegible]坂宮眞館。四等[illegible]孝。入船町野村[illegible]下司谷宗三郎。[illegible]吉人。稅關橫田[illegible]

△瑞芳　同日午[illegible]開于取次店。宮[illegible]日下警部補。其[illegible]立會。一等至五[illegible]

△中壢　同街讀者福引。十時開于中壢取次店鍾新桂氏家。異常盛況。而特等幸運者。爲中壢小學校小島君當籤。

淡水淡安社
十五周年祝

淡水街淡安社。創立于大正十年。已滿十五周年。乃由洪有桐鄭興旺兩氏發起。于去元旦。邀集諸社員。假同地公會堂。開祝賀會。由陳有生氏開會詞後。報告經過。並說明今後之組織。諸員一致贊成。是夜六時。開祝賀會。及福引餘興。至九時散會。

鐵櫃內現金々品
約四百餘圓罹盜
空鐵櫃被拋棄附近蔗園內

東石郡太保庄後潭富人蔡新地。家於客臘。不知何時在房中。失去小鐵櫃一個。內現金及金品。價値四百餘圓。其後發見金櫃。被拋棄在附近蔗園中。方知盜難。立報其事于當局。於是郡刑事。立拘嫌疑者數名到案。嚴重取調。至今犯人尙在五里霧中云。

全島庭球
選手權大會
二日開於嘉義

第十一回全島軟式庭球選手權大會。去二日上午九時。開於嘉義市球庭。由全島各地集合之選手。凡百餘名。首由前年優勝者返納優勝杯。次會長川添修平氏。敍開會之辭。幹事就競技上所關注意後。九時半。開始比試。其結果。依舊與前年同樣。歸柳金木氏優勝。午後一時半終了。次入複比試。按至三日午前中。全部終了云

前年中羅東郡下
農商工交通業情勢（下）
各街庄概順調發展

羅東工業方面。自滿洲國成立後。該國所用之鐵道枕木。於昭和八年。輸出四萬挺。昭和九年。輸出十二萬挺。比客年。增加九萬挺。山界產地。亦形活況。又太平山檜木。亦屬豐富。而營林所羅東出張所。爲圖諸製材工場便利。漸次改善運搬方法。其後遭際京阪地方風水害及樺太方面。因木材無多制限伐材。致材木騾昂。本年移出額。有五十二萬餘腕。比客年。增加十九萬餘腕。次爲日月潭發電所竣功後。羅東電化工場。自本年八月十日。再見開辦。而本年移出額。電塗（カーバイト）有五百餘噸。次製紙工場。得大川技師長。種種苦心。發見川鬼茅。可製優良印刷紙後。得督府賦與山場。採取鬼茅權。凡一萬餘甲。故羅東街。內各貨物車及挽手車。爲運搬原料。盛往來其他紙板。年製造能力。有二十四萬坪。現南洋方面。陸續以大量注文。因生產力有限。大半不能應付。次昭和製糖會社。因蔗農熱心改良耕法。並得山界傾斜地。栽蔗。于糖年生產額。有二十萬餘擔次交通方面。卽羅東驛。因太平山之檜木。及米等之移出額。逐年增加。年發送額。爲四十五萬餘噸乘降客。三十二萬餘人。稱爲宜蘭線。收入最多之驛。又蘭陽自動車會社。因羅東。宜蘭間之吊橋竣功後。業績順調。至昭和九年。借入金萬餘圓。經已全部還淸。又最近收入有百四十餘圓。本年配當按一成乃至一成五分。共益自動車會社。則經營羅東。蘇澳及猴々間乘合車最近乘客。頗爲增加。按明年中。欲經營猴洞與蘇澳間之海岸線。三星自動車會社。因山場盛行開拓資源。故羅東。三星間之乘客。亦屬不少。其他本年自動車組合。蘭陽支部設于羅東。爲交通安全。及乘客便利計。樹立有種々之計畫也。（完）

竹山

新年交禮

竹山街有志計二百三名。去二日上午十時起。在竹山公學校雨天體操場。開名刺交換會。首先由土橋助役。敍開會詞。繼合唱國歌。庄長林朝棟氏式辭隨卽開宴。最後由中松郡守。三呼萬歲。衆和之。十時半散會。又是日郡衙。及小公學校均擧新年祝賀式。

庭球比試

竹山郡體育會。主催庭球新年爭覇戰。去二日午前九時起。開于竹山小學校庭場。是日中松郡守亦臨場。各團但均熱烈爭鬪。最後對成績優良者。授與賞品。正午盛況裡閉會。

宴操觚者

竹山郡勤務久我特務部長。去元旦下午二時頃。在自宅設宴招待街內駐在各日刊操觚者。至四時。而久米刑事之招宴。並其他等。而間私招請酒。舞歌爲至二日午後四時。開於玉美樓旗亭也。

嘉義

開運抽籤

本社新春。對各讀報者之開運抽籤福引。嘉義支局。於二日午前十時起。至午後三時。其抽出之成績如左。

▲特等西門町三丁目李纒玉氏

▲二等吳金彎賴廷福二氏

▲三等營林所野村氏外四名

其他至六等云。

初配煙酒

嘉義市內。昭和十年新春之初配貨。于二日午前九時起。專賣支局。以自動車運搬酒類及煙草。由樋口支局長督率。配與于各賣捌人云。

人事

▲嘉義市元町賴尙明氏。去二日病逝。

▲彰化市甘得中氏之德配於元旦日上午四時逝去。葬儀未定

大甲

新年交禮

大甲郡大甲街諸官民團體。計三百餘名。由大甲街役場發起。于元旦日午前十時。集於男子公學堂。開名刺交換會。宴間盡歡。栗田街長。敍新年詞後。由街長發聲。三呼萬歲。衆和之。然後散會

學拜賀式

大甲街元旦日午前九時。官紳有志。及生徒其他千數百名。在男子公學校。擧行拜賀式。後岩元校長。就開式詞後。國歌合唱。勅語奉讀。大唱國語奉答歌。職員總代賀詞。兒童總代賀詞。岩元校長訓示。唱一月一日歌。及勅語奉納。一同敬禮閉式。

開圍碁會

街郵便局長今井高次郎氏。素對圍碁非常熱心。定四日欲在自宅。招待當地同好者三四十名。開圍碁會。

詩壇

池邊鶴

海州　五十嵐重四郎

振翼上靑天。翔翔三萬里。
歸來引頸鳴。影蘸御池水。

其二

仙禽翩戾止。池畔友神龜。
恭獻千年壽。高鳴答聖時。

其三

日出扶桑海。徐昇若木枝。
仙禽來自遠。高步臨天池。
華封三多祝。皇朝萬世基。
時維歲之首。宮苑朝華披。
丹頂麗朝旭。羽毛霜雪欺。
翩翔舞松上。窈窕明淸姿。
神州瑞氣藹。禽鳥先有知。
山河祥光生。草木共恩私。
人爲萬物長。豈可忘聖時。

○　寒松　廖煥章

丹旭輪初起。元音出九天。
群鷄鳴屋角。一鶴立池邊。
低倚梅花下。高翔玉宇前。
淩云双翮健。聖壽共千年。

○　賴揚柳

鶴舞瑤池淺水邊。翩然拮抗紫宸前。
引吭得意鳴金闕。欽望低頭降羽仙。
饒月有詩徵韻典。梳翎如雪起朝霆。
文王靈囿沼禽頌。丹頂翱翔舞堯天。

○　陳竹峰

而今丹頂恥乘軒。池畔棲留朝又昏。
傍岸優游新歲月。守梅回憶舊乾坤。
澄淸水映仙禽白。嘹唳聲聞御苑喧。
詩讀陸機羨長壽。悠々千載亦君恩。

○　陳香昌

軒昂骨格自天眞。飛舞銀塘景象新。
綠水碧空明逸性。和風瑞雪更精神。
遙壺滄激覓同伴。大液澄淸月作鄰。
身沐恩波欣疊々。當陽先祝鳳池春。

小說　櫻花夢（下卷）

第一回　暴周留學投軍

暴周派部下謝消福祥淸蘇二人。到泉州查孫胡情。挑香興山輝商議。則據事宜。兩般着々籌備。暴周自少林寺打木人出後。直歸其故鄕之南陽市。備辦些禮物。買溪船。爲父母掃墓。招宴族長及其伯叔兄弟。謝其照管財產之勞。更言欲出洋留學。仍託照管財產。整頓行裝。自泉州陸路。騎馬至省城。領取留學證明。自馬尾江搭日本汽船渡臺。由基隆轉門司。由下關乘特急列車。直抵東京。至中國公使館投福建總督證明書。由公使館照會日本外務省。入陸軍士官學校。時外務省爲招徠中國留學。各中等以上學校。皆有特別科。所謂支那人科。程度較淺。且附以譯文教科書。或譯義附通譯說明。總爲言語不通之故。暴周不安小就。放課後。專心研究日本國語。不眠不休。經一年之久。已能聽敎師講義。暴周原頗悟穎絕倫。遂進與日本靑年同科。一過目便成誦。凡關軍事參考書。皆搜羅購取。其絕本者。則赴帝國圖書館借抄。三年學成。更進陸軍大學。將畢業之時。革命軍起。外國留學生紛々歸國。投入營伍。爲黨人效力。獨暴周不肯棄學。仍至三年畢業。領取有光輝之日本陸軍大學文憑。乃歸國。投吳佩孚麾下。轉戰有功。以其軍事智識。全軍無其儔。遂任參謀總長。任少將。後馮玉祥叛吳佩孚。吳佩孚不肯居外國租界。率其舊部入蜀。暴周見軍人無氣節。可以威脅。可以利誘。反覆無常。不似日本軍人之有大和魂武士道。知國事不可爲。絕好之禹域河山。必至銅駝荊棘。而爲外國豆剖瓜分遂決意歸閩。靜觀時變。得吳佩孚了解。去而之上海。時胡漢民據漳州。爲文明的施設。折城填濠。毀垣壞屋。築大馬路。敷鐵軌。駛汽車。實行三民主義。利用厚生。胡之部曲呂景探在滬。呂亦日本留學生卒業早大政治經濟本科。得法學士頭銜。爲胡之財政總長。與暴周在東京結交。邂逅於虹口。知其不得志於吳軍。堅邀之赴漳州。暴周亦以漳州爲舊郡。同鄕甚便。遂與之俱往。晉謁胡漢民。民論軍學。極爲胡所賞識。卽時拔爲參謀。胡漢民去漳。委爲漳州總司令。軍民交推。（待續）